平成 27 年度

# 北海道看護協会
# 教育研修計画

HOKKAIDO NURSING ASSOCIATION 2015

公益社団法人北海道看護協会

# 平成27年度
# 北海道看護協会教育研修計画の発行にあたって

北海道看護協会　会長　平　山　妙　子

平成26年6月医療介護総合確保推進法が成立し、関連する医療法・介護保険法関連、そして保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律等多岐にわたり法律改正が行われました。具体的な内容として示された「病院等の管理者は医療従事者の勤務環境の改善等の措置を講ずるよう努めること」や「都道府県に医療勤務環境改善支援センターの設置」、「すべての医療施設で予期せぬ死亡事故に対する医療事故調査と報告をすること」等の義務化は医療施設に働くすべての看護職に少なからず影響を与えていくことでしょう。また看護業務が拡大される「特定行為に係る看護師の研修制度」、及び看護職の確保・定着対策として「ナースセンターへの離職時等の届出制度」が創設されたことは、看護職にとって大きな前進と言えます。

北海道看護協会は時代の変化に対応しながら看護実践の質の向上やキャリア開発支援、働き続けられる職場づくりなどの教育研修を企画し実施していくことが会員の皆様の大きな期待と思って取り組んでおります。

昨年から新会館で全教育研修を実施し、受講希望をいただいた会員の皆様に可能な限り応えることを方針に実施を致しました。

今年度も昨年の研修毎の評価及び日本看護協会主催の研修や支部研修との棲み分け等を考慮するとともに、3職能それぞれの課題やニーズに応える教育研修計画を心がけました。新企画では地域看護で「保健師・看護師のコーディネート力向上－地域包括ケアシステム構築を推進するために－」「新任期保健師とともに学ぼう－実践力アップ事例検討会－」養成研修で「ELNEC-J高齢者プログラム」「精神科訪問看護基本療養費算定要件」指導者研修で「継続教育担当者のための企画運営」の公開講座開催、トピックスで「看護管理―診療報酬改定をさらに経営に活かすために－」などをはじめインターネット配信等でも新たな企画をしております。また今年から助産実践能力習熟段階レベルⅢの認証申請がスタートしますが関連した研修も実施致します。更に通信研修も認知症ケアとファーストレベル公開講座を拡大し、札幌圏以外の会員の利便性を少しでも高められればと企画しております。

教育研修計画冊子は会員お一人お一人にお届けしていますので、活用しやすいように「専門職業人としての看護職に必要な能力の全体像（コンピテンシー）」の掲載や専門性を高める研修、養成研修、委託事業等を区分しわかりやすいように工夫をしております。ぜひ教育研修計画をご活用いただき、キャリアアップや専門性の向上に役立てていただければ幸いです。

目次

北海道看護協会における継続教育の基本方針・教育枠組み ---------- 1
申込留意事項 ---------- 3

Ⅰ 平成２７年度北海道看護協会教育研修計画
1 教育研修日程表 ---------- 5
2 応募期間一覧 ---------- 7
3 教育研修計画
新企画のご案内 ---------- 10
＜看護共通＞ ---------- 11
＜がん看護＞＜成人看護＞---------- 12
＜老年看護＞＜精神看護＞＜地域看護＞＜小児看護＞＜母性看護＞---------- 13
＜看護管理＞＜看護管理・認定看護管理者教育課程公開講座＞---------- 14
＜養成研修＞---------- 15
＜指導者研修＞---------- 16
＜トピックス＞＜北海道委託事業＞＜インターネット配信研修〔リアルタイム〕＞--- 17
＜インターネット配信研修〔オンデマンド〕＞＜看護補助者研修＞---------- 18
＜訪問看護師養成講習会公開講座＞---------- 19
【e-ラーニング活用型】医療安全管理者養成研修のご案内 ---------- 20

Ⅱ 認定看護管理者教育課程 募集要項 ---------- 21

Ⅲ 訪問看護師養成講習会（北海道委託事業）募集要項 ---------- 25

Ⅳ 支部担当研修会（北海道補助研修） ---------- 26

Ⅴ 看護地域別研修会（北海道補助研修） ---------- 28

Ⅵ 研修会申込書１～7 ---------- 30

Ⅶ 北海道看護研究学会のご案内 ---------- 37

Ⅷ 全国看護セミナーのご案内（日本看護協会出版会主催） ---------- 38

Ⅸ 駐車場利用方法 ---------- 39

# 北海道看護協会における継続教育の基本方針

## 教　育　理　念

看護を取り巻く社会環境は、慢性疾患の増加、少子高齢化の進行、在宅医療の推進、予防の重視など刻々と変化し、看護を提供する場や役割も拡大、多様化している。また保健・医療・福祉の構造改革が進む中、国民のヘルスケアニーズも変化し、人々から安心して信頼のもてる医療・看護への期待がますます高まっている。しかし社会環境がいかに変化しようとも人間としての尊厳を維持する普遍的ニーズに応え、人権を尊重することが看護には求められている。

このような社会情勢、医療環境の変化を踏まえ、看護職は保健・医療・福祉の変化に柔軟に対応し、生命の尊厳と権利を尊重し、自律した専門職として生涯にわたり自己研鑽とキャリア開発に努めなければならない。

北海道看護協会は継続教育の体系化を図り、道民の健康と福祉の増進に貢献する看護職者のキャリア開発を支援するものである。

## 基　本　方　針

1　日本看護協会および北海道看護協会支部との有機的な連携を強化し、継続教育の質の向上を図る。
2　看護職のキャリア開発を支援する。
3　看護三職能の社会的役割・責務を遂行するために、専門性・実践能力の向上を図る。
4　保健・医療・福祉のニーズに対応し、社会貢献できる能力の向上を図る。

# 教育枠組み

日本看護協会が平成 17 年度より提示している「専門職業人としての看護職に必要な能力の全体像」を基本におき、各研修プログラムを研修領域で分類し整理している。また、学習者･研修受講者の看護実践段階に応じているため、Ⅰ～Ⅳの学習段階を設定している。

**＜専門職業人としての看護職に必要な能力の全体像（コンピテンシー）＞**

| 項目 | | | 内容 |
|---|---|---|---|
| 専門的・倫理的・法的実践 | 説明責任 | | 自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について個人としての責任をもつ |
| | 倫理的実践 | | 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重し、看護者の倫理綱領に基づいて看護を実践する |
| | 法的実践 | | 医療法、保健師助産師看護師法に基づき、日本看護協会などのガイドラインに沿って実践を行う |
| 看護の提供とマネジメント | 看護の主要原則 | | 専門的知識に基づく判断を行い、系統的アプローチを通して個別的な実践を行う |
| | 看護の提供 | アセスメント | 看護過程を展開するために必要な情報の収集･分析と健康問題の判断を行う |
| | | 計画 | 看護上の問題の明確化と解決のための方策を提示し、問題解決のための方法を選択する |
| | | 介入 | 利用者へのｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞｺﾝｾﾝﾄ、直接的看護方法･相談･教育を実施する |
| | | 評価 | 実施した看護の事実に即した記録作成、実施した看護の評価、計画の修正･再構成を行う |
| | | コミュニケーションと対人関係 | 対象となる人々に対して、適切なコミュニケーションと対人関係技術によって治療的関係を築く |
| | | 健康増進 | すべての人々を対象として身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態に到達するために、個人や集団が自己の目標を確認･実現し、ニーズを満たし、環境を改善し、環境に対処できるよう援助する |
| | ケアマネジメント | 安全環境 | 対象となる人々へ安全な看護を提供し、人々が危機的状況にさらされているときは、保護し安全を確保する |
| | | 専門職種間の協働 | 他の看護者および保健医療福祉関係者とともに協働して看護を提供する |
| | | 委任と管理 | 他の看護者および保健医療福祉関係者に委譲する場合には、自己および相手の能力と実践可能範囲内の活動を正しく判断し、委任し管理する |
| 専門能力の開発 | 専門性の強化 | | 研究や実践を通して、専門的知識･技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する |
| | 質の向上 | | 看護業務の質を評価する際に、妥当性のある根拠を用いて、質の向上のための取り組みに参加する |
| | 継続教育 | | 常に、個人の責任として継続学習による能力の維持･開発に努める |

## ＜研修領域＞

看護者が個々の看護実践能力に合わせて自身で必要な研修を選択することができるよう、研修の段階を設定し、また高めていきたい専門領域の内容を系統的に学習することを支援するために、研修を領域別に分類した。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 看護共通 | 看護実践の場で共通し、基本となる専門的･倫理的･法的知識や看護技術に関する内容 |
| 2 | がん看護 | がん患者とその家族のアセスメント、看護技術やケアマネジメントおよび在宅移行支援、倫理的実践に関する内容 |
| 3 | 成人看護 | 成人急性･慢性疾患患者の看護、自己管理への援助やリハビリテーションに関する内容 |
| 4 | 老年看護 | 高齢者に特徴的な健康問題、その家族についてのアセスメント技法、症状緩和および日常生活の援助に関する内容 |
| 5 | 精神看護 | 精神障がい者および精神的健康について援助を必要としている人々への看護に関する内容 |
| 6 | 地域看護 | 地域における保健･医療･福祉におけるコーディネート機能、マネジメント機能に関する内容 |
| 7 | 小児看護 | 子どもの健全な育成および健康障害を持つ小児やその家族のアセスメント、看護技術、他職種との協働、調整に関する内容 |
| 8 | 母性看護 | 女性の健康の保持増進や周産期ケア等の援助方法に関する内容 |
| 9 | 看護管理 | 看護者としてのリーダーシップ、調整、カウンセリング、教育など実践能力に関するものと医療経済、組織管理に関する内容 |
| 10 | 養成研修 | 養成に関する内容 |
| 11 | 指導者研修 | 都道府県看護協会や施設における教育担当者や教育指導者に必要な教育内容や指導方法に関する内容 |

＜トピックス＞＜北海道委託事業＞＜インターネット配信研修＞＜看護補助者研修＞＜認定看護管理者教育課程＞は別枠で設定する。

## ＜研修の学習段階＞

研修の学習段階は、日本看護協会の研修会の段階設定の指標（平成 14 年度ジェネラリストのためのクリニカルラダー：日本看護協会基盤整備研究）に準じ、看護実践能力を4つの段階に設定した。

この指標を用いてそれぞれの看護者が、自らの実践段階と対比させ、自身が学びたい学習内容を含んだ研修を選択できるように段階を提示した。※段階を設定しない研修会もある。

| ステージ | 指　　標 | 研修のねらい |
|---|---|---|
| Ⅰ | 指導や教育のもとで、基本的な看護を安全に実践できる。指導を受けることにより自己の学習課題を見つけることができる。 | 看護実践者として基本的能力を体得し、看護専門職としての感性や態度を養い、専門的知識や技術を身につけ、長期目標や優先度を考えて個別性を重視した看護を考える研修とする。 |
| Ⅱ | 看護実践の場面において単独で看護を提供できる。チームリーダー的な役割や責務を認識し遂行できる。自己の学習課題に向けた学習活動を展開できる。 | 各看護学等専門分野における体験を活かし、より質の高い看護サービスを提供できるための実務、能力開発研修。全体の状況を見ながら、チームの中での統率力･指導力が発揮できる。対象に起きている現象を概念化でき看護の技術の改善や創造性を培う研修とする。 |
| Ⅲ | 高度な看護活動を実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる。自己の学習活動に積極的に取り組むのみならず、指導的役割を発揮できる。 | より質の高い看護サービスを提供するための実務･能力開発研修。全体の状況が見えながら積み重ねた経験と学習を統合させた看護の質的改善や創造性を高める研修とする。 |
| Ⅳ | 論理的かつ実践的知識を統合して卓越した看護を実践し、所属を超えてリーダーシップを発揮できる。自己の学習活動はもとより組織的な教育･研究活動を主体的に実践できる。 | 管理･教育･調整･協同･倫理的能力を開発･発展させ、関係他職種との連携･調整役として能力を発揮できるための研修とする。 |

# 申込留意事項

## お知らせ

### 1　弁当予約

昼食を希望の方は、１階ロビーにて代金引換で予約を受け付けます（1 食 500 円）。当日朝のオリエンテーション開始前までに、申し込みください。弁当販売業者が対応します。

### 2　駐車場利用

駐車場利用方法、利用申込書は、39～40 ページを参照してください。

## Ⅰ　受講条件

1　受講対象を確認の上、申し込みをしてください。特に、受講要件のある研修は、注意してください。

2　非会員でこれから入会される方は、入会手続きをして、研修会申込期間の前月月末までに看護協会費を送金してください。

## Ⅱ　申込方法

1　所定の申込書に必要事項を記入し、応募期間最終日の 17 時(必着)までに下記の方法で申し込みをしてください。FAX で申し込む場合は、必ず送付状（施設名・研修会名・応募者数等　記載）を添えて送信してください。FAX の不具合等により申込書が送受信できなかった場合は、申し込みは無効となります。心配な方は、送信後申込先まで確認してください。

2　申込書には、記入漏れのないよう必ず本人が記入をしてください。

**【申込方法】**　　※申込書は、コピーまたは北海道看護協会ホームページからダウンロードしてください。

| 研修会 | | 申込書 No | ページ | 申込方法 | 留意事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般研修 | 養成研修以外 | 1 | 30 | 郵送<br>または FAX | |
| | 養成研修 | 2 | 31 | | 推薦者名明記(**自署**)のこと<br>※医療安全管理者-フォローアップ-を除く<br>施設推薦順位 |
| 【e-ラーニング活用型】<br>医療安全管理者養成研修 | | 3 | 32 | インターネット<br>または FAX | **株式会社学研ナーシングサポートに申し込み** |
| 看護補助者研修 | | 4 | 33 | 郵送<br>または FAX | |
| 支部担当・看護地域別研修会 | | 5 | 34 | | |
| 訪問看護師養成講習会 | | 6 | 35 | | |
| 訪問看護師養成講習会公開講座 | | 7 | 36 | | |

3　次の場合は、受付できません。

(1) 受講条件に該当しないもの

(2) 応募期間終了後の申し込み

※ただし、定員に満たない場合は応募期間を延長します。

北海道看護協会ホームページの　「教育研修・研修会年間計画」で確認してください。

**【申し込み･問合せ先】**

| 研修会 | ページ | 担当部署 | TEL | FAX |
|---|---|---|---|---|
| 支部担当･看護地域別研修会 | 26～29 | 総務部総務課 | 011-863-6731 | 011-863-3204 |
| 上記以外の研修会 | 11～19 | 事業部教育課 | 011-861-3273 | |
| 【e-ラーニング活用型】<br>医療安全管理者養成研修 | 20 | 詳細は P20 参照 | 申し込み：学研ナーシングサポート<br>研修内容の問合せ：事業部教育課 | |

※郵送での申し込みは、〒003-0027　札幌市白石区本通 17 丁目北 3 番 24 号　担当部署宛に送付してください。

## Ⅲ　受講決定･受講料

1　受講の可否および開催要領・受講料払込取扱票については、施設申し込みは看護管理者へ、個人会員は 本人に通知書を送付します。通知書の送付は応募締切日から３週間前後を予定しています。研修会開催日の１ヶ月前に届いていない場合は、必ず連絡してください（発送についての詳細はホームページ掲載）。看護管理者の方は、必ず申込者全員へ採否結果を伝えてください。事前課題等がある場合書類を同封することがありますので、通知書と共に受講者にお渡しください。

2　応募者が定員を超えた場合は、会員を優先します。演習を伴う研修、養成研修等で、応募者が定員を超えた場合には、協会の基準により選考します。

3　受講料は、受講料払込取扱票を使用し期日までに支払いしてください(受講料は、消費税を含んでいます)。
振込期限までに振込がない場合は、受講を辞退されたものと判断し、キャンセルとなります。

## Ⅳ　受講者の変更･キャンセル

1　受講決定後、受講者の入れ替えは原則できません。また、研修会当日の受講者の変更はできません。

2　受講者のキャンセルは、必ず連絡してください。

3　受講料お支払い後、受講者側の都合により受講を取り消された場合は、既納料金の返却はいたしません。

## Ⅴ　留意事項

1　北海道看護協会ホームページに、各研修の応募期間開始までに、講師名を記載した開催要領を掲載します。都合により研修日程・内容が一部変更する場合があります。

2　研修会により、必要物品や講師指定のテキスト等を準備していただきます。その場合は、受講決定時に送付の受講決定通知（開催要領）を確認してください。

3　北海道看護協会へのアクセスは、裏表紙に記載しています。

4　北海道看護協会および敷地内は、全面禁煙です。

5　配付資料は講義の一部として受講者にのみ１人１部ずつ配付し、書き込みなどを理由に追加配付はしていません。
著作元の許可なく複製（コピーを含む）することは原則として禁止しています。

6　会場では室温を管理していますが、各自衣服等で調節できるように準備してください。

7　研修の録音、写真やビデオ撮影、講義中のパソコン、タブレット等の使用は遠慮してください。

**【個人情報保護の取り扱いについて】**

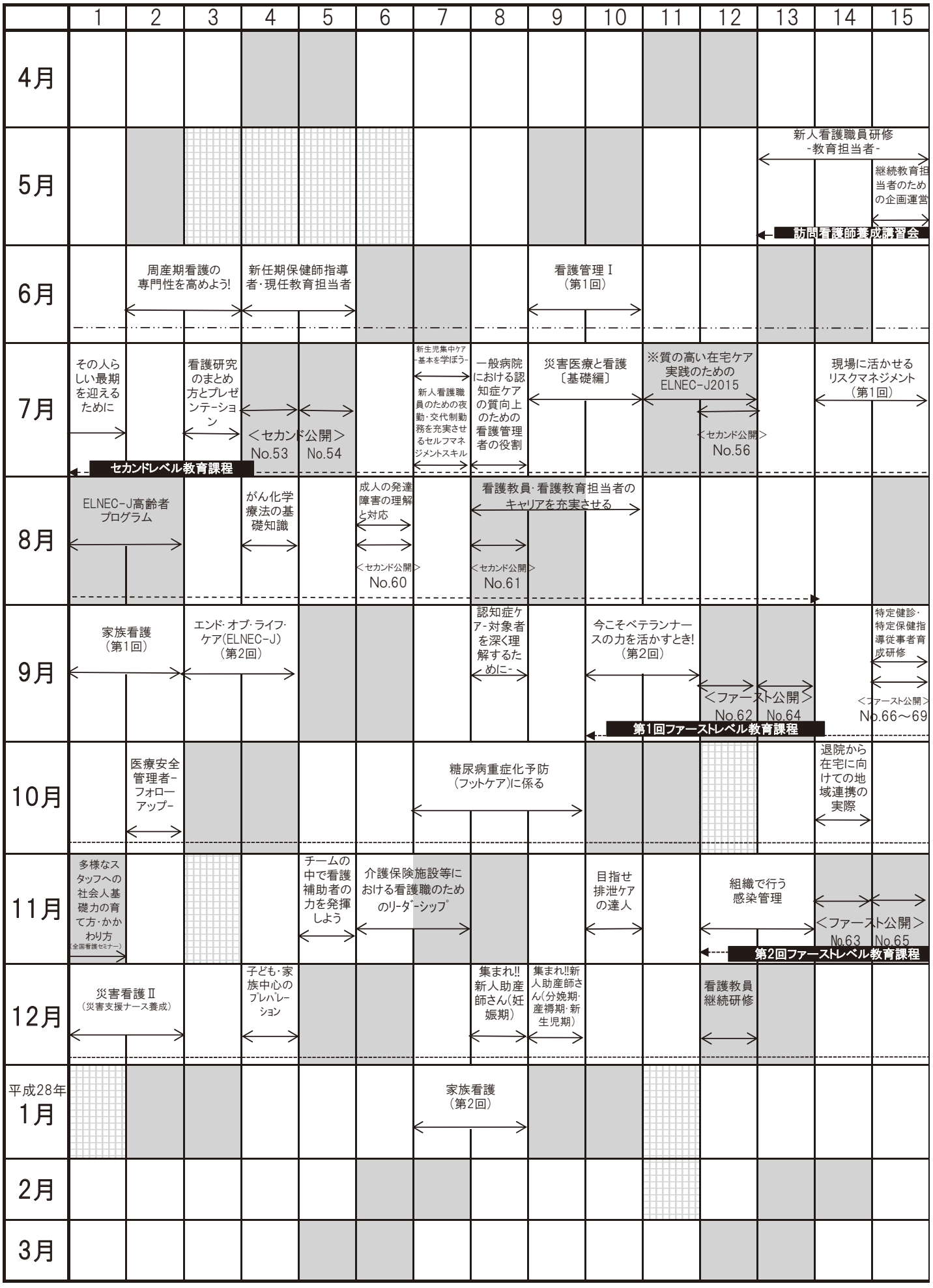
研修会申込書で得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送に利用いたします。また、研修会の事前課題等を講師に情報提供することがあります。これによって知り得た情報は、研修会での利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありませんのでご了承ください。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

※各研修会の詳細は、「北海道看護協会ホームページ」もしくは「受講決定通知の開催要領」で確認してください。
開催要領(研修会プログラム)を適時、更新、公開しています！

北海道看護協会ホームページ
http://www.hkna.or.jp/
→ 教育研修 → 研修会 年間計画 → 各研修会開催要領

・開催要領をＰＤＦで見ることができます。
・申込み状況では、受付延長（日付）、受付終了などがわかります。
・受講決定通知状況では、選考中、発送済み（日付）などがわかります。

# Ⅰ-1　平成27年度


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
平成28年 1月
2月
3月
新人看護職員研修 -教育担当者-
継続教育担当者のための企画運営
訪問看護師養成講習会
周産期看護の専門性を高めよう!
新任期保健師指導者・現任教育担当者
看護管理Ⅰ（第1回）
その人らしい最期を迎えるために
看護研究のまとめ方とプレゼンテーション
＜セカンド公開＞ No.53
No.54
新生児集中ケア -基本を学ぼう-
新人看護職員のための夜勤・交代制勤務を充実させるセルフマネジメントスキル
一般病院における認知症ケアの質向上のための看護管理者の役割
災害医療と看護〔基礎編〕
※質の高い在宅ケア実践のためのELNEC-J2015
＜セカンド公開＞ No.56
現場に活かせるリスクマネジメント（第1回）
セカンドレベル教育課程
ELNEC-J高齢者プログラム
がん化学療法の基礎知識
成人の発達障害の理解と対応
＜セカンド公開＞ No.60
看護教員・看護教育担当者のキャリアを充実させる
＜セカンド公開＞ No.61
家族看護（第1回）
エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)（第2回）
認知症ケア-対象者を深く理解するために-
今こそベテランナースの力を活かすとき!（第2回）
＜ファースト公開＞ No.62
No.64
特定健診・特定保健指導従事者育成研修
＜ファースト公開＞ No.66～69
第1回ファーストレベル教育課程
医療安全管理者-フォローアップ-
糖尿病重症化予防（フットケア）に係る
退院から在宅に向けての地域連携の実際
多様なスタッフへの社会人基礎力の育て方・かかわり方（全国看護セミナー）
チームの中で看護補助者の力を発揮しよう
介護保険施設等における看護職のためのリーダーシップ
目指せ排泄ケアの達人
組織で行う感染管理
＜ファースト公開＞ No.63
No.65
第2回ファーストレベル教育課程
災害看護Ⅱ（災害支援ナース養成）
子ども・家族中心のプレパレーション
集まれ!! 新人助産師さん(妊娠期)
集まれ!!新人助産師さん(分娩期・産褥期・新生児期)
看護教員継続研修
家族看護（第2回）

# 教育研修日程表

土・日　祝祭日

| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | さぁ!はじめよう看護研究-研究計画書のつくり方- | | 看護管理-診療報酬改定をさらに経営に活かすために- | | | | | | |
| | | 医療安全管理者養成 | | | | | | | | 口腔ケアの基本を学ぼう | | | 保健師・看護師のコーディネート力向上 | 今、求められている新人教育-新人看護師さんと一緒に学ぼう!-（第1回） | |
| 看護管理Ⅰ（第2回） | | | | 北海道看護協会通常総会 | 北海道看護研究学会 | | | | | | 糖尿病と共に生きる人々への看護 | | | その人らしい最期を迎えるために | |
| 現場に活かせるリスクマネジメント（第2回） | 看護倫理 | | ＜セカンド公開＞ No.55 ※7/25～26合わせて4日間 | | | 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証申請のための必須研修 | 看護研究に使える統計学-講義コース- | | ＜セカンド公開＞ No.55 ※7/19～20合わせて4日間 | | | ＜セカンド公開＞ No.57～59 | 看護管理Ⅱ | | |
| | | | | 今こそベテランナースの力を活かすとき!（第1回） | | | | | エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)（第1回） | | | 指導者のための看護研究-研究をクリティークしてみよう- | 精神科訪問看護基本療養費算定要件 | | |
| | 統計のためのパソコンスキルアップ-Excelを使用する統計処理- | ＜ファースト公開＞ No.70 | | ＜ファースト公開＞ No.71 | | | | | | | | | リンパ浮腫ケアの基本（第1回） | リンパ浮腫ケアの基本（第2回） | |
| 看護の視点で考える-心不全の病態とケア- | | | | 新人看護職員研修-研修責任者- | | | 夜勤・交代制勤務ガイドライン導入のための実践方法を知る | 【e-ラーニング活用型】医療安全管理者養成研修（集合研修） | | | | 乳がん看護の基礎知識 | 臨地実習指導-学生をうけとめて- | | 多様なスタッフへの社会人基礎力の育て方・かかわり方（全国看護セミナー） |
| | 新任期保健師とともに学ぼう-実践力アップ事例検討会- | | 高齢者の終末期ケアにおける倫理的問題 | | | ＜ファースト公開＞ No.72 | | | 魅力ある施設内教育の企画-あなたの組織に合ったプログラムを考えよう- | | | | | | |
| | | | 今、求められている新人教育-新人看護師さんと一緒に学ぼう!-（第2回） | | | | | | | | | | | | |

※については、4月にホームページにアップします

# Ⅰ-2　応募期間一覧

| 応募期間 | 開催期間 | No. | 申込書 | 研 修 会 名 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ期<br>3/2<br>｜<br>3/16 | 4/23-4/24 | 札幌市-1<br>旭川市-2<br>釧路市-3<br>函館市-4 | 1 | ＜看護研究シリーズ基礎編＞さぁ！はじめよう看護研究 - 研究計画書のつくり方-<br>※札幌会場配信の通信研修 |
| | 4/25 | 89 | 1 | 看護管理-診療報酬改定をさらに経営に活かすために- |
| | 5/13-5/15 | 92 | 1 | 新人看護職員研修-教育担当者- |
| | 5/15 | 82 | | 継続教育担当者のための企画運営 |
| | 5/15 | 83 | 1 | ＜公開講座＞継続教育担当者のための企画運営 |
| | 5/18-5/23 | 73 | 2 | 医療安全管理者養成 |
| | 5/26 | 9 | 1 | 口腔ケアの基本を学ぼう |
| | 5/29-5/30 | 40 | 1 | 保健師・看護師のコーディネート力向上-地域包括ケアシステム構築を推進するために- |
| | 5/30-5/31 | 93 | 1 | 今、求められている新人教育-新人看護師さんと一緒に学ぼう！-（第1回） |
| Ⅱ期<br>4/1<br>｜<br>4/15 | 6/2-6/3 | 46 | 1 | 周産期看護の専門性を高めよう！ |
| | 6/4-6/5 | 41 | 1 | 新任期保健師指導者・現任教育担当者-中堅期保健師のスキルアップ- |
| | 6/9-6/10 | 47 | 1 | 看護管理Ⅰ-看護管理のはじめの一歩-（第1回） |
| | 6/16-6/17 | 48 | 1 | 看護管理Ⅰ-看護管理のはじめの一歩-（第2回） |
| | 6/27 | 30 | 1 | 糖尿病と共に生きる人々への看護 |
| | 6/30-7/1 | 札幌市-10<br>函館市-11 | 1 | その人らしい最期を迎えるために<br>※札幌会場配信の通信研修 |
| | 7/3 | 7 | 1 | ＜看護研究シリーズ実践編3＞看護研究のまとめ方とプレゼンテーション |
| | 7/4 | 53 | 1 | ＜セカンドレベル公開講座＞組織マネジメントの基本理論 |
| | 7/5 | 54 | 1 | ＜セカンドレベル公開講座＞組織分析（組織診断） |
| | 7/7 | 44 | 1 | 新生児集中ケア-基本を学ぼう- |
| | 7/7 | 札幌市-100<br>旭川市-101<br>釧路市-102<br>函館市-103 | 1 | ＜インターネット配信研修〔オンデマンド〕＞<br>新人看護職員のための夜勤･交代制勤務を充実させるセルフマネジメントスキル |
| | 7/8 | 札幌市-104<br>旭川市-105<br>釧路市-106<br>函館市-107 | 1 | ＜インターネット配信研修〔オンデマンド〕＞<br>一般病院における認知症ケアの質向上のための看護管理者の役割<br>～急性期医療を受ける認知症高齢者に対するために～ |
| | 7/9-7/10 | 98 | 1 | ＜インターネット配信研修〔リアルタイム〕＞災害医療と看護〔基礎編〕 |
| | 7/12 | 56 | 1 | ＜セカンドレベル公開講座＞看護実践の概念化-看護現場学の方法と成果- |
| | 7/14-7/15 | 12 | 1 | 現場に活かせるリスクマネジメント（第1回） |
| | 7/16-7/17 | 13 | 1 | 現場に活かせるリスクマネジメント（第2回） |
| | 7/17 | 札幌市-14<br>旭川市-15<br>釧路市-16<br>函館市-17 | 1 | 看護倫理-看護で大切なことは何か-<br>※札幌会場配信の通信研修 |
| | ①7/19-20<br>②7/25-26 | 55 | 1 | ＜セカンドレベル公開講座＞<br>原因分析<br>目標管理<br>（戦略・戦略マップ・ＢＳＣ） |

| 応募期間 | 開催期間 | No. | 申込書 | 研 修 会 名 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅲ期<br>5/1<br>ｌ<br>5/18 | 7/22 | 108 | **1** | ＜インターネット配信研修〔オンデマンド〕＞<br>助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証申請のための必須研修<br>日本看護協会の４つの研修を合わせた企画 |
| | 7/23-7/24 | 5 | **1** | ＜看護研究シリーズ実践編1＞看護研究に使える統計学-講義コース- |
| | 7/28 | 札幌市-57 | **1** | ＜セカンドレベル公開講座＞コンフリクトマネジメント<br>※札幌会場配信の通信研修 |
| | | 旭川市-58 | | |
| | | 函館市-59 | | |
| | 7/29-7/30 | 札幌市-49 | **1** | 看護管理Ⅱ<br>※札幌会場配信の通信研修 |
| | | 旭川市-50 | | |
| | | 釧路市-51 | | |
| | | 函館市-52 | | |
| | 8/1-8/2 | 75 | **2** | ELNEC-J高齢者プログラム |
| | 8/4 | 26 | **1** | がん化学療法の基礎知識 |
| | 8/6 | 39 | **1** | 成人の発達障害の理解と対応 |
| | 8/6 | 60 | **1** | ＜セカンドレベル公開講座＞看護組織のナレッジマネジメント |
| | 8/8 | 61 | **1** | ＜セカンドレベル公開講座＞看護人事・労務管理Ⅰ-人事システム- |
| | 8/8-8/10 | 84 | **1** | 看護教員･看護教育担当者のキャリアを充実させる-イキイキと仕事を続けるために- |
| | 8/8 | 85 | **1** | ＜公開講座：1日目＞<br>看護教員･看護教育担当者のキャリアを充実させる-イキイキと仕事を続けるために- |
| | 8/9-8/10 | 86 | **1** | ＜公開講座：2･3日目＞<br>看護教員･看護教育担当者のキャリアを充実させる-イキイキと仕事を続けるために- |
| | 8/20-8/21 | 18 | **1** | 今こそベテランナースの力を活かすとき！<br>-自己の強みをより発揮できるために-（第1回） |
| | 9/10-9/11 | 19 | **1** | 今こそベテランナースの力を活かすとき！<br>-自己の強みをより発揮できるために-（第2回） |
| | 8/25-8/26 | 76 | **2** | エンド・オブ・ライフ・ケア（ELNEC-J）（第1回） |
| | 9/3-9/4 | 77 | **2** | エンド・オブ・ライフ・ケア（ELNEC-J）（第2回） |
| | 8/28 | 8 | **1** | ＜看護研究シリーズ指導者編＞指導者のための看護研究-研究をクリティークしてみよう- |
| | 8/28-8/30 | 78 | **2** | 精神科訪問看護基本療養費算定要件 |
| | 9/1-9/2 | 20 | **1** | 家族看護-援助の対象である家族の理解を深めよう-（第1回） |
| | 9/8 | 札幌市-32 | **1** | 認知症ケア-対象者を深く理解するために-<br>※札幌会場配信の通信研修 |
| | | 旭川市-33 | | |
| | | 釧路市-34 | | |
| | | 函館市-35 | | |
| Ⅳ期<br>7/1<br>ｌ<br>7/15 | 8/1-11/15 | 74 | **3** | 【e-ラーニング活用型】医療安全管理者養成研修<br>※e-ラーニング視聴期間：8/1-11/15、集合研修：10/24-10/26 |
| | 9/12 | 62 | **1** | ＜ファーストレベル公開講座＞看護管理に必要な基礎知識　組織論(第1回) |
| | 9/13 | 64 | **1** | ＜ファーストレベル公開講座＞論理的な論文の記載方法(第1回) |
| | 9/15 | 札幌市-66 | **1** | ＜ファーストレベル公開講座＞看護サービスの質管理<br>※札幌会場配信の通信研修 |
| | | 旭川市-67 | | |
| | | 釧路市-68 | | |
| | | 函館市-69 | | |
| | 9/15 | 90 | **1** | 特定健診・特定保健指導従事者育成研修-効果的指導へのスキルアップ- |
| | 9/17-9/18 | 6 | **1** | ＜看護研究シリーズ実践編2＞<br>統計のためのパソコンスキルアップ-Excelを使用する統計処理- |
| | 9/18 | 70 | **1** | ＜ファーストレベル公開講座＞看護サービスの概要 |
| | 9/20-9/21 | 71 | **1** | ＜ファーストレベル公開講座＞問題解決（第1回） |
| | 9/29 | 27 | **1** | リンパ浮腫ケアの基本（第1回） |
| | 9/30 | 28 | **1** | リンパ浮腫ケアの基本（第2回） |

| 応募期間 | 開催期間 | No. | 申込書 | 研 修 会 名 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅳ期<br>7/1<br>～<br>7/15 | 10/2 | 79 | **2** | 医療安全管理者-フォローアップ- |
| | 10/7-10/9 | 80 | **2** | 糖尿病重症化予防（フットケア）に係る |
| | 10/14 | 42 | **1** | 退院から在宅に向けての地域連携の実際-脳卒中あんしん連携ノート・脳卒中あんしん生活ガイドブックを活用し再発予防を考える- |
| | 10/16 | 31 | **1** | 看護の視点で考える - 心不全の病態とケア - |
| | 10/20-10/22 | 95 | **1** | 新人看護職員研修-研修責任者-～新人看護職員研修と臨床実践の場をつなぐ体制構築を考えよう～ |
| | 10/23 | 109 | **1** | ＜インターネット配信研修〔オンデマンド〕＞夜勤･交代制勤務ガイドライン導入のための実践方法を知る-夜勤負担を軽減した勤務づくりを目指して-〔理論編〕･〔運用編〕<br>日本看護協会の２つの研修を合わせた企画 |
| | 10/28 | 29 | **1** | 乳がん看護の基礎知識-診断･治療･意思決定から終末期まで- |
| | 10/28-10/29 | 87 | **1** | 臨地実習指導-学生をうけとめて- |
| Ⅴ期<br>9/1<br>～<br>9/15 | 11/5 | 110 | **4** | チームの中で看護補助者の力を発揮しよう |
| | 11/6-11/7 | 36 | **1** | 介護保険施設等における看護職のためのリーダーシップ-日常生活支援から看取りまで- |
| | 11/6 | 37 | **1** | ＜公開講座：1日目＞<br>介護保険施設等における看護職のためのリーダーシップ-日常生活支援から看取りまで- |
| | 11/7 | 38 | **1** | ＜公開講座：2日目＞<br>介護保険施設等における看護職のためのリーダーシップ-日常生活支援から看取りまで- |
| | 11/10 | 22 | **1** | 目指せ排泄ケアの達人 |
| | 11/12-11/13 | 札幌市-23<br>釧路市-24<br>函館市-25 | **1** | 組織で行う感染管理<br>※札幌会場配信の通信研修 |
| | 11/14 | 63 | **1** | ＜ファーストレベル公開講座＞看護管理に必要な基礎知識　組織論(第2回) |
| | 11/15 | 65 | **1** | ＜ファーストレベル公開講座＞論理的な論文の記載方法(第2回) |
| | 11/17-11/18 | 43 | **1** | 新任期保健師とともに学ぼう-実践力アップ事例検討会- |
| | 11/19-11/20 | 99 | **1** | ＜インターネット配信研修〔リアルタイム〕＞高齢者の終末期ケアにおける倫理的問題 |
| | 11/22-11/23 | 72 | **1** | ＜ファーストレベル公開講座＞問題解決（第2回） |
| | 11/25-11/27 | 88 | **1** | 魅力ある施設内教育の企画-あなたの組織に合ったプログラムを考えよう- |
| | 12/1-12/2 | 81 | **2** | 災害看護Ⅱ(災害支援ナース養成) |
| | 12/4 | 45 | **1** | 子ども・家族中心のプレパレーション-子どもの権利の尊重とケアモデルを活用した日々の看護の振り返り- |
| | 12/8 | 96 | **1** | 集まれ！！新人助産師さん-日ごろの疑問を解決しよう-（妊娠期） |
| | 12/9 | 97 | **1** | 集まれ！！新人助産師さん-日ごろの疑問を解決しよう-（分娩期･産褥期･新生児期） |
| | 12/12 | 91 | **1** | 看護教員継続研修-授業デザインとリフレクション- |
| | 12/19-12/20 | 94 | **1** | 今、求められている新人教育-新人看護師さんと一緒に学ぼう！-（第2回） |
| | H28.1/7-1/8 | 21 | **1** | 家族看護(入門編)-援助の対象である家族の理解を深めよう-（第2回） |

訪問看護師養成講習会　【詳細は25頁参照】

| 応募期間 | 開催期間 | 申込書 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1/5<br>～<br>3/31 | 訪問看護師養成講習会<br>5/13-6/26（31日間） | **6** | 詳細は北海道看護協会ホームページ<br>＜教育研修→研修会年間計画→訪問看護師養成講習会＞ |
| | 公開講座<br>全11回（各1日間） | **7** | |

支部担当研修会、看護地域別研修会　【詳細は26～29頁参照】

| | | |
|---|---|---|
| 支部担当研修会 | 申込書<br>**5** | 1 申込･問合せ先は、北海道看護協会総務課となります。お問合せの際は総務課（☎011-863-6731）までお願いします。なお、申し込みFAX番号は教育課担当の研修会と共通となっています。<br>2 応募期間は研修会によって異なります。<br>3 支部の都合により研修内容･開催日時等が変更となる場合があります。北海道看護協会ホームページで最新情報をご確認ください。 |
| 看護地域別研修会 | | |

# I-3　平成27年度　北海道看護協会教育研修計画



〔新企画のご案内〕

| 研修領域 | 研修会名 |
|---|---|
| がん看護 | 乳がん看護の基礎知識-診断･治療･意思決定から終末期まで- |
| 地域看護 | 保健師・看護師のコーディネート力向上-地域包括ケアシステム構築を推進するために- |
| | 新任期保健師とともに学ぼう-実践力アップ事例検討会- |
| 養成研修 | ELNEC-J高齢者プログラム |
| | 精神科訪問看護基本療養費算定要件 |
| 指導者研修 | ＜公開講座＞継続教育担当者のための企画運営<br>※北海道看護協会支部教育委員対象の研修会を＜公開講座＞として対象を拡大 |
| トピックス | 看護管理-診療報酬改定をさらに経営に活かすために- |
| | 看護教員継続研修-授業デザインとリフレクション- |
| インターネット配信研修〔リアルタイム〕 | 高齢者の終末期ケアにおける倫理的問題（札幌市） |
| インターネット配信研修〔オンデマンド〕<br><br>※事前に講義を収録したものをインターネット経由で受信（録画再生） | 新人看護職員のための夜勤･交代制勤務を充実させるセルフマネジメントスキル（札幌市・旭川市・釧路市・函館市） |
| | 一般病院における認知症ケアの質向上のための看護管理者の役割～急性期医療を受ける認知症高齢者に対するために～（札幌市・旭川市・釧路市・函館市） |
| | 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証申請のための必須研修（札幌市）<br>1)子宮収縮薬使用時の助産ケアのポイント<br>2)産科領域で役立つ！脳神経系のフィジカルアセスメント<br>3)産領域で役立つ！呼吸器・循環器系のフィジカルアセスメント<br>4)産科領域で役立つ！代謝系のフィジカルアセスメント<br>※日本看護協会の４つの研修を合わせた企画 |
| | 夜勤･交代制勤務ガイドライン導入のための実践方法を知る～夜勤負担を軽減した勤務づくりを目指して～〔理論編〕･〔運用編〕（札幌市）<br>※日本看護協会の２つの研修を合わせた企画 |

| No. | 研 修 会 名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | ステージ | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料(円) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 看護共通 | | | | | | | | | | | |
| 1 | ＜看護研究シリーズ基礎編＞<br>さぁ！はじめよう看護研究 - 研究計画書のつくり方-<br>(札幌市) | 2 | 4/23<br>ｌ<br>4/24 | 3/2<br>ｌ<br>3/16 | 200 | Ⅰ<br>ｌ<br>Ⅳ | ・看護研究に取り組んだことがあること(初心者～研究経験の浅い者)<br>保･助･看･准 | ・看護研究の意義を理解し、日常の看護実践における問題や疑問を看護研究につなげるプロセスを学ぶ。 | 【研究への取り組み】<br>【研究テーマの絞込み】<br>【研究デザインと種類】<br>【文献の活用とクリティーク】<br>【看護研究計画書の作成】<br>【質疑応答】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 2 | 同上（旭川市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 50 | | | | | 会　員<br>7,000<br>非会員<br>17,500 | |
| 3 | 同上（釧路市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| 4 | 同上（函館市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| 5 | ＜看護研究シリーズ実践編1＞<br>看護研究に使える統計学-講義コース-<br>※統計学の基本的内容を理解する内容です。 | 2 | 7/23<br>ｌ<br>7/24 | 5/1<br>ｌ<br>5/18 | 100 | Ⅰ<br>ｌ<br>Ⅳ | ・「さぁ！はじめよう看護研究」研修会を受講、またはそれ相当の知識を有する者<br>・保･助･看･准 | ・看護研究における統計の概念を理解し、よく使用される検定方法を使ってデータ分析できる知識を学ぶ。 | 【統計学の基本概念】<br>【データ収集方法と整理方法】<br>【調査票の作成】<br>【統計量の計算】<br>【データ分析】<br>【相関関係】<br>【検定と推定】<br>【質疑応答】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 6 | ＜看護研究シリーズ実践編2＞<br>統計のためのパソコンスキルアップ-Excelを使用する統計処理-<br>※実践編1相当の知識を持ち、エクセルを使った統計処理の方法を学びます。 | 2 | 9/17<br>ｌ<br>9/18 | 7/1<br>ｌ<br>7/15 | 50 | Ⅰ<br>ｌ<br>Ⅳ | ・「さぁ！はじめよう看護研究」研修会を受講、またはそれ相当の知識を有する者<br>・保･助･看･准<br>・条件に合うパソコンを持参でき、Excelを使用した文字入力等などの基本的操作に慣れている者<br>※OSがWindows Vista、7、8のいずれかで、Microsoftエクセル2010または2013がインストールされたパソコンを準備持参できること（1人1台）なお、マウスを必ず準備すること<br>※講師のデモ画面では「エクセル2013」を使用。パソコン画面の不具合があった場合は、自己責任で対応ください。 | ・看護研究における統計の概念を理解し、よく使用される検定方法を使ってデータ分析できる知識を学ぶ。 | 【Windows操作の効率化】<br>【Excelの基本操作】<br>【Excel操作の効率化】<br>【調査票作成の基本】<br>【グラフ作成の基本】<br>【計算機能】<br>【統計量の計算】<br>【検定と推定】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | ※事前に基本的な統計用語の自己学習をして受講してください。<br><br>(注)持参するパソコンは、マイクロソフトエクセルの分析ツールアドイン設定が必須となります。5月頃に北海道看護協会ホームページに対応ソフト・設定方法の詳細をご案内します。必ずご確認の上、お申し込みください。 |
| 7 | ＜看護研究シリーズ実践編3＞<br>看護研究のまとめ方とプレゼンテーション | 1 | 7/3 | 4/1<br>ｌ<br>4/15 | 200 | Ⅰ<br>ｌ<br>Ⅳ | ・看護研究に取り組んだことがあり、現在、具体的な研究デザイン･研究計画･データ資料等を保有している者<br>・保･助･看･准 | ・看護研究成果を効果的に伝えられるようになるために、研究結果のまとめ方、プレゼンテーション方法について学ぶ。 | 【研究発表とは】<br>【研究論文の作成】<br>【プレゼンテーションとは】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 8 | ＜看護研究シリーズ指導者編＞<br>指導者のための看護研究-研究をクリティークしてみよう- | 1 | 8/28 | 5/1<br>ｌ<br>5/18 | 100 | Ⅲ<br>ｌ<br>Ⅳ | ・看護研究の指導的立場にあり、実際に看護研究を行った経験がある者<br>・保･助･看 | 1 臨床で取り組む看護研究の指導の知識と技術を習得する。<br>2 クリティークを手順に従って実践する。 | 【学会発表への取り組みに向けて-平成27年度看護研究学会査読を通して-】<br>【研究への取り組み】<br>【演習：質的研究のクリティーク】<br>【演習：量的研究のクリティーク】<br>【まとめ】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | ※受講決定時に送付するクリティーク文献は、熟読して研修にご参加ください。 |
| 9 | 口腔ケアの基本を学ぼう | 1 | 5/26 | 3/2<br>ｌ<br>3/16 | 150 | Ⅰ<br>ｌ<br>Ⅳ | ・保･助･看･准 | ・口腔ケアの基礎知識を得ることにより、口腔ケアにおける看護の役割が理解できる。 | 【口腔ケアに必要な基礎知識】<br>【口腔ケアの目的】<br>【口腔ケアに必要な観察とアセスメント】<br>【口腔ケアの実際】<br>(演習) | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | ※演習物品の詳細については、開催要領でご確認ください。 |
| 10 | その人らしい最期を迎えるために<br>（札幌市） | 2 | 6/30<br>ｌ<br>7/1 | 4/1<br>ｌ<br>4/15 | 250 | Ⅱ<br>ｌ<br>Ⅲ | ・保･助･看･准 | 1 終末期にある患者および家族に対する理解を深める。<br>2 看取り患者および家族への関わりを学び、グリーフケアに対する考え方を学ぶ。 | 【終末期から看取り、グリーフケア】<br>【終末期ケアと倫理的諸問題】<br>【在宅における看取りのケア】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 11 | 同上（函館市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | 会　員<br>7,000<br>非会員<br>17,500 | |
| 12 | 現場に活かせるリスクマネジメント（第1回）<br>※第1回､第2回は同じ内容 | 2 | 7/14<br>ｌ<br>7/15 | 4/1<br>ｌ<br>4/15 | 100 | Ⅱ<br>ｌ<br>Ⅲ | ・保･助･看･准 | ・現場で活かせるリスクマネジメントの視点･あり方を学ぶ。 | 【医療安全の動向】<br>【マネジメントプロセス～日常に潜むリスクを予知する】<br>(演習)<br>【マネジメントプロセス～事例分析とは】<br>【事故発生～事故防止策まで】<br>(ImSAFERによる演習) | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 13 | 現場に活かせるリスクマネジメント（第2回）<br>※第1回､第2回は同じ内容 | 2 | 7/16<br>ｌ<br>7/17 | | 100 | | | | | | |

| No. | 研 修 会 名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | ステージ | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料（円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 看護倫理-看護で大切なことは何か-（札幌市） | 1 | 7/17 | 4/1 ｜ 4/15 | 200 | Ⅰ ｜ Ⅳ | ・保・助・看・准 | ・看護実践における倫理の重要性を学ぶ。 | 【看護職における倫理について考える】<br>【倫理的判断の視点を考える】<br>（情報交換含む） | 会　員 5,000<br>非会員 12,500 | |
| 15 | 同上（旭川市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 50 | | | | | 会　員 3,500<br>非会員 8,750 | |
| 16 | 同上（釧路市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| 17 | 同上（函館市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| 18 | 今こそベテランナースの力を活かすとき！-自己の強みをより発揮できるために-（第1回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 8/20 ｜ 8/21 | 5/1 ｜ 5/18 | 120 | Ⅱ ｜ Ⅳ | ・実務経験7年以上の者<br>・保・助・看・准 | 1 チーム医療の活性化のため必要な中堅看護師としての役割を確認する。<br>2 自己を客観的にとらえ、仕事にやりがいをもって取り組めるようになれるためのスキルを学ぶ。 | 【チームの中で期待される役割とは】<br>【自己の傾向の認識】<br>【自己の強みを活かすためのソーシャルスキル】<br>【課題の明確化】<br>（演習）<br>【講談】 | 会　員 8,000<br>非会員 20,000 | |
| 19 | 今こそベテランナースの力を活かすとき！-自己の強みをより発揮できるために-（第2回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 9/10 ｜ 9/11 | | 120 | | | | | | |
| 20 | 家族看護-援助の対象である家族の理解を深めよう-（第1回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 9/1 ｜ 9/2 | 5/1 ｜ 5/18 | 120 | Ⅰ ｜ Ⅳ | ・保・助・看・准 | ・家族看護とは何か、家族へのケアの必要性を理解し、自分がどのように家族と接していけばよいか具体的な方策を学ぶ。 | 【家族の定義】<br>【家族理論】<br>【家族看護の目的】<br>【家族とのパートナーシップ形成】<br>【家族とのコミュニケーション】<br>【家族アセスメント】<br>【家族援助方法】<br>（グループ検討を含む）<br>【質疑応答】 | 会　員 8,000<br>非会員 20,000 | |
| 21 | 家族看護-援助の対象である家族の理解を深めよう-（第2回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | H28 1/7 ｜ 1/8 | 9/1 ｜ 9/15 | 120 | | | | | | |
| 22 | 目指せ排泄ケアの達人 | 1 | 11/10 | 9/1 ｜ 9/15 | 120 | Ⅱ ｜ Ⅳ | ・保・助・看・准 | ・排泄障害の理解を深め、QOL向上の視点から排泄援助を学ぶ。 | 【排尿障害のアセスメントとケア】<br>【排便障害のアセスメントとケア】<br>【質疑応答】 | 会　員 5,000<br>非会員 12,500 | |
| 23 | 組織で行う感染管理（札幌市） | 2 | 11/12 ｜ 11/13 | 9/1 ｜ 9/15 | 200 | Ⅱ ｜ Ⅳ | ・自施設において感染管理の役割を担っている者、または今後感染管理の役割を担う予定の者<br>・保・助・看・准 | ・組織における感染管理看護師（感染管理者）の役割および活動の知識を得る。 | 【感染管理組織と感染症法】<br>【感染管理の基礎知識】<br>【職業感染対策】<br>【感染対策マニュアル】<br>【感染管理教育・コンサルテーション】<br>【ファシリティーマネジメント】<br>【洗浄/消毒/滅菌】<br>【質疑応答】 | 会　員 8,000<br>非会員 20,000 | |
| 24 | 同上（釧路市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | 会　員 7,000<br>非会員 17,500 | |
| 25 | 同上（函館市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| がん看護 | | | | | | | | | | | |
| 26 | がん化学療法の基礎知識 | 1 | 8/4 | 5/1 ｜ 5/18 | 150 | Ⅱ ｜ Ⅲ | ・保・助・看・准 | ・がん化学療法の基本的知識を学ぶとともに、看護ケアのポイントを理解し、看護実践に活かす。 | 【がん化学療法の基礎知識】<br>【抗がん剤の取扱い】 | 会　員 5,000<br>非会員 12,500 | |
| 27 | リンパ浮腫ケアの基本（第1回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 1 | 9/29 | 7/1 ｜ 7/15 | 70 | Ⅱ ｜ Ⅲ | ・保・助・看・准 | ・リンパ浮腫の病態生理を理解し、複合的理学療法や具体的な日常ケアについて学ぶ。 | 【リンパ浮腫の病態生理】<br>【リンパ浮腫ケアの基本と実際】<br>【複合的理学療法の実際】<br>（演習）<br>【セルフケア指導】 | 会　員 5,000<br>非会員 12,500 | |
| 28 | リンパ浮腫ケアの基本（第2回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 1 | 9/30 | | 70 | | | | | | |
| 29 | **≪新企画≫**<br>乳がん看護の基礎知識-診断・治療・意思決定から終末期まで- | 1 | 10/28 | 7/1 ｜ 7/15 | 80 | Ⅱ ｜ Ⅲ | ・保・助・看・准 | 1 乳がん治療の最新知識を学ぶ。<br>2 各治療での看護ケアについて理解し、乳がん患者への看護を学ぶ。 | 【乳がんの診断、治療】<br>【乳がん患者への看護-チームでの支援-】<br>【自己検診のすすめ】 | 会　員 5,000<br>非会員 12,500 | |
| 成人看護 | | | | | | | | | | | |
| 30 | 糖尿病と共に生きる人々への看護 | 1 | 6/27 | 4/1 ｜ 4/15 | 180 | Ⅱ ｜ Ⅲ | ・保・助・看・准 | ・生活習慣病など慢性的な健康問題をもつ人がセルフケア能力を高め、最適な健康状態で生活できるよう、患者・家族への看護について学ぶ。 | 【糖尿病看護の特徴】<br>【生活の場をリレーションする看護】<br>【療養支援におけるコミュニケーション】<br>【糖尿病患者の関わり方】 | 会　員 5,000<br>非会員 12,500 | |
| 31 | 看護の視点で考える - 心不全の病態とケア - | 1 | 10/16 | 7/1 ｜ 7/15 | 250 | Ⅰ ｜ Ⅲ | ・保・助・看・准 | ・心不全患者を看護する上で必要な知識を学び、病態に合った看護の実践（アセスメントと必要な看護介入）に役立てる。 | 【心疾患を知るための基本的な知識】<br>【心不全の病態生理】<br>【心不全の看護】 | 会　員 5,000<br>非会員 12,500 | |

| No. | 研 修 会 名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | ステージ | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料（円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **老年看護** | | | | | | | | | | | |
| 32 | 認知症ケア-対象者を深く理解するために-（札幌市） | 1 | 9/8 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 250 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅳ | ・保･助･看･准 | ・医療・保健・福祉施設における認知症対象者の理解を深め、看護実践のための具体的方法を学ぶ。 | 【高齢者の特徴】<br>【認知症患者の特徴】<br>【せん妄について】<br>【高齢者の特徴を踏まえたケアの視点】<br>【認知症の人を捉える視点と関わりのあり方】<br>【病院・施設・在宅での取り組み】<br>【質疑応答】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 33 | 同上（旭川市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | 会　員<br>3,500<br>非会員<br>8,750 | |
| 34 | 同上（釧路市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| 35 | 同上（函館市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| 36 | 介護保険施設等における看護職のためのリーダーシップ-日常生活支援から看取りまで- | 2 | 11/6<br>｜<br>11/7 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 40 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅳ | ・介護保険関連施設等に勤務する者<br>・保･看･准 | ・介護保険施設等の看護職に期待される役割を理解し、施設におけるケアの質向上および他職種との連携、協働のためのマネジメント能力を養う。 | （1日目）<br>【介護保険施設等における看護職の役割】<br>【施設におけるセーフティマネジメントの理解】<br>（2日目）<br>【他職種との連携と協働】<br>【看取り期のケアの理解】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 37 | ＜公開講座：1日目＞<br>介護保険施設等における看護職のためのリーダーシップ-日常生活支援から看取りまで- | 1 | 11/6 | | 10 | | | | 上記1日目の内容 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 38 | ＜公開講座：2日目＞<br>介護保険施設等における看護職のためのリーダーシップ-日常生活支援から看取りまで- | 1 | 11/7 | | 10 | | | | 上記2日目の内容 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| **精神看護** | | | | | | | | | | | |
| 39 | 成人の発達障害の理解と対応 | 1 | 8/6 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 100 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅳ | ・保･助･看･准 | ・発達障害についての理解を深め、障害の特性やその人の生きづらさを理解し適切なケアの方法について学ぶ。 | 【発達障害とは】<br>【発達と発達障害の過程】<br>【成人の発達障害の特徴、診断基準、治療、合併症】<br>【成人の発達障害へのアプローチ】<br>【質疑応答】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| **地域看護** | | | | | | | | | | | |
| 40 | **≪新企画≫**<br>保健師・看護師のコーディネート力向上-地域包括ケアシステム構築を推進するために- | 2 | 5/29<br>｜<br>5/30 | 3/2<br>｜<br>3/16 | 80 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅳ | ・地域包括支援センター保健師・看護師<br>・保健所・市町村保健師<br>・医療機関の地域連携室看護師・退院調整看護師<br>・ケアマネジャーの看護師<br>・訪問看護ステーション保健師・看護師 | ・地域包括ケアシステムの構築を推進するため、連携・調整の中心的役割を担う地域包括支援センター等の保健師・看護師のコーディネート力の向上を図る。 | 【地域包括ケアシステム】<br>【情報・意見交換】<br>（グループワークとまとめ）<br>【我が町の地域包括ケアシステムをどう構想し、何から取り組むか】<br>【保健師・看護師に求められる地域連携のためのコーディネート力とはどう力量形成するか】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 41 | 新任期保健師指導者･現任教育担当者-中堅期保健師のスキルアップ- | 2 | 6/4<br>｜<br>6/5 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 50 | Ⅱ<br>｜<br>Ⅲ | ・中堅期（経験年数5年～管理期未満）にある保健師<br>・新任期保健師の採用がない場合や現任教育を担当していない場合も受講可能 | ・新任期保健師の指導を含め、現任教育を担当する中堅期保健師が、求められている能力や役割について認識し、人材育成に必要な知識･技術を学び、実践することができる。 | 【保健師基礎教育の現状と課題】<br>【新任教育･現任教育における中堅期保健師の役割】<br>【実践報告、グループワーク）<br>【人材育成に必要となる知識･指導技術の実際】<br>（演習含む） | 会　員<br>非会員<br>4,000 | 北海道補助研修 |
| 42 | 退院から在宅に向けての地域連携の実際-脳卒中あんしん連携ノート・脳卒中あんしん生活ガイドブックを活用し再発予防を考える- | 1 | 10/14 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 100 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅳ | ・保･助･看･准･他の職種（MSW･OT･PT等） | ・退院に向けた継続看護の医療機関から在宅への移行を円滑に行うため、地域連携パスを活用した他の職種との役割と連携のあり方を学ぶ。 | 【脳卒中地域連携クリティカルパスの現状と今後の課題と病棟に於いてのパスの活用:脳卒中看護を通して】<br>【退院に向けて生活を整える支援:MSWの立場から】<br>【退院後の生活を支える支援】<br>【情報交換】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 43 | **≪新企画≫**<br>新任期保健師とともに学ぼう-実践力アップ事例検討会- | 1.5 | 11/17<br>｜<br>11/18 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 50 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅲ | ・新任期保健師（1～5年目）、新任期保健師を指導する立場にある保健師で現在の新採保健師の有無は問わない、実践力アップを試みようという保健師 | ・保健指導のスキルアップを図り、実践力アップ事例検討会のファシリテーターや板書係の役割をとおし、効果的な個別事例のアセスメントを学ぶ。 | 【今、なぜ、事例検討なのか－人材育成の観点から－】<br>【スキルアップにつながる事例検討】<br>【グループ演習】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| **小児看護** | | | | | | | | | | | |
| 44 | 新生児集中ケア-基本を学ぼう- | 1 | 7/7 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 50 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅱ | ・保･助･看･准 | ・新生児の特殊性について基本的な理解を深め､集中ケアの実際を学ぶ。 | 【新生児集中ケア概論】<br>【新生児のフィジカルアセスメントの基礎知識】<br>【新生児集中ケア方法】<br>【演習】<br>（グループワーク） | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 45 | 子ども・家族中心のプレパレーション-子どもの権利の尊重とケアモデルを活用した日々の看護の振り返り- | 1 | 12/4 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 50 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅳ | ・保･助･看･准 | 1 子どもの権利と倫理的視点を理解し、治療看護に必要な適切な説明能力を習得する。<br>2 ケアモデルに沿った倫理的看護実践の基本姿勢を習得する。 | 【小児医療における子どもの権利と倫理的課題】<br>【小児看護におけるプレパレーション】<br>【プレパレーションの実際】<br>（演習含む） | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| **母性看護** | | | | | | | | | | | |
| 46 | 周産期看護の専門性を高めよう！ | 2 | 6/2<br>｜<br>6/3 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 50 | Ⅱ<br>｜<br>Ⅳ | ・助産師または周産期領域で勤務している保健師・看護師 | ・周産期看護に求められる判断能力および看護実践能力を向上し自律してケアや指導の実践をめざし、最新の知識と必要な技術を学ぶ。 | 【今、周産期看護に求められる能力】<br>【周産期における看護判断1】<br>（胎児心拍数モニタリング）<br>【周産期における看護判断2】<br>（ハイリスク妊婦の管理）<br>【助産記録】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | ※【周産期における看護判断1】（胎児心拍数モニタリング）、【助産記録】は、全時間を受講した者には修了証を発行する。 |

| No. | 研 修 会 名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | ステージ | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料（円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **看護管理** | | | | | | | | | | | |
| 47 | 看護管理Ⅰ-看護管理のはじめの一歩-（第1回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 6/9<br>｜<br>6/10 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 150 | Ⅲ | ・新任主任および主任に準ずる任についている者<br>・新任師長（その任について２年以内）<br>・保･助･看 | ・看護管理に必要な基本的知識を学び、部署活性化のためのチームリーダーとしての役割・働きかけについて学ぶ。 | 【看護管理の基本】<br>【部署における師長・主任の役割と協働】<br>（演習含む）<br>【部署内教育（人材育成）】<br>（演習含む） | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 48 | 看護管理Ⅰ-看護管理のはじめの一歩-（第2回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 6/16<br>｜<br>6/17 | | 150 | | | | | | |
| 49 | 看護管理Ⅱ（札幌市） | 2 | 7/29<br>｜<br>7/30 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 170 | Ⅳ | ・看護師長、看護師長に準ずる任についている者<br>・保･助･看 | ・看護管理者としての役割と責任を自覚し、人的資源の育成･活用に必要な能力を養う。 | 【組織管理と看護管理の基本】<br>【目標管理】<br>【看護の動向】<br>【人的資源管理】<br>【看護管理の実際】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 50 | 同上（旭川市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | 会　員<br>7,000<br>非会員<br>17,500 | |
| 51 | 同上（釧路市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| 52 | 同上（函館市）<br>※札幌会場配信の通信研修 | | | | 30 | | | | | | |
| **看護管理・認定看護管理者教育課程公開講座** | | | | | | | | | | | |
| 53 | ＜セカンドレベル公開講座＞<br>組織マネジメントの基本理論 | 1 | 7/4 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 30 | Ⅳ | ・看護管理の役割にあたっている者（師長職以上）または、看護管理者に準ずる役割にあたっている者（主任職以上） | ・組織の基本概念について学ぶ。 | 【組織構造と機能】<br>【組織化の方法】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 54 | ＜セカンドレベル公開講座＞<br>組織分析（組織診断） | 1 | 7/5 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 30 | | ・53＜セカンドレベル公開講座＞組織マネジメントの基本理論を受講する者 | ・組織の構造･機能プロセスを理解するとともにその分析評価法を探求する。 | 【所属組織の分析方法】<br>【所属組織の評価方法】<br>【組織の経営戦略】<br>【目標管理】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 55 | ＜セカンドレベル公開講座＞<br>原因分析<br>目標管理<br>（戦略・戦略マップ・ＢＳＣ） | 4 | ①7/19-20<br>②7/25-26 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 30 | | ・53・54＜セカンドレベル公開講座＞組織マネジメントの基本理論および組織分析を受講する者<br>または、平成24～26年度ファーストレベルを受講した者 | ・看護管理課題の妥当性や問題解決のための検証を行い、看護管理実践に活用する。 | 【問題解決技法】<br>【戦略】<br>【戦略マップ】<br>【バランススコアカード（BSC）】<br>【演習】 | 会　員<br>20,000<br>非会員<br>50,000 | |
| 56 | ＜セカンドレベル公開講座＞<br>看護実践の概念化<br>-看護現場学の方法と成果- | 1 | 7/12 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 50 | | ・看護管理の役割にあたっている者（師長職以上）または、看護管理者に準ずる役割にあたっている者（主任職以上） | 1 看護実践を概念化、理論化する意義について理解を深める。<br>2 看護現場学の方法と成果について学ぶ。 | 【看護実践の概念化・理論化】<br>【看護現場学の方法と成果】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | 申込書１ |
| 57 | ＜セカンドレベル公開講座＞<br>≪通信研修≫札幌配信<br>コンフリクトマネジメント<br>（札幌市） | 1 | 7/28 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 50 | | | ・看護管理に日常的に求められるコンフリクトマネジメント、交渉術について理解する。 | 【コンフリクトマネジメント】<br>【交渉術】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 58 | 同上（旭川市） | | | | 30 | | | | | 会　員<br>3,500<br>非会員<br>8,750 | |
| 59 | 同上（函館市） | | | | 30 | | | | | | |
| 60 | ＜セカンドレベル公開講座＞<br>看護組織のナレッジマネジメント | 1 | 8/6 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 50 | | | ・看護管理に必要な知識管理を理解する。 | 【ナレッジマネジメント】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 61 | ＜セカンドレベル公開講座＞<br>看護人事・労務管理Ⅰ<br>-人事システム- | 1 | 8/8 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 50 | | | 1 人事労務管理の基本的な考え方を理解する。<br>2 人的資源を有効に活用するために必要な知識を習得する。 | 【就業規則・各種制度】<br>【採用（職務要件、人材確保の方法、採用（効果的な選抜方法））】<br>【人事考課・能力評価】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 62 | ＜ファーストレベル公開講座＞<br>看護管理に必要な基礎知識<br>組織論（第1回） | 1 | 9/12 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 30 | Ⅳ | ・看護管理の役割にあたっている者。または、看護管理に関心がある者 | 1 組織に関する諸理論について理解する。<br>2 看護管理過程に組織論を適用し、所属組織の評価･改善の方策を試案する。 | 【組織の成り立ちと構造】<br>【システム論】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | 申込書１ |
| 63 | ＜ファーストレベル公開講座＞<br>看護管理に必要な基礎知識<br>組織論（第2回） | 1 | 11/14 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 30 | | | | | | |
| 64 | ＜ファーストレベル公開講座＞<br>論理的な論文の記載方法（第1回） | 1 | 9/13 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 30 | | | ・論理的な論文の記載方法について学ぶ。 | 【論理的な論文の記載方法】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 65 | ＜ファーストレベル公開講座＞<br>論理的な論文の記載方法（第2回） | 1 | 11/15 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 30 | | | | | | |
| 66 | ＜ファーストレベル公開講座＞<br>≪通信研修≫札幌配信<br>看護サービスの質管理（札幌市） | 1 | 9/15 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 50 | | | ・提供した看護サービスの質を管理するための知識･技術を習得する。 | 【看護サービスの質評価と改善】<br>【看護サービスと記録】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 67 | 同上（旭川市） | | | | 30 | | | | | 会　員<br>3,500<br>非会員<br>8,750 | |
| 68 | 同上（釧路市） | | | | 30 | | | | | | |
| 69 | 同上（函館市） | | | | 30 | | | | | | |
| 70 | ＜ファーストレベル公開講座＞<br>看護サービスの概要 | 1 | 9/18 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 50 | | | ・サービスの基本的概念を理解し、患者･利用者の視点から考えた看護サービス提供過程を学ぶ。 | 【サービスとは】<br>【看護サービスの概念】<br>【看護ケア提供方式】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 71 | ＜ファーストレベル公開講座＞<br>問題解決（第1回） | 2 | 9/20<br>｜<br>9/21 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 20 | | ・62＜ファーストレベル公開講座＞看護管理に必要な基礎知識第1回を受講する者 | 1 論理的な思考で解決に臨む概念化能力を養う。<br>2 看護管理者としての問題・課題を整理できる。 | 【論理的思考】<br>【問題解決思考】<br>【問題解決過程】 | 会　員<br>10,000<br>非会員<br>25,000 | |
| 72 | ＜ファーストレベル公開講座＞<br>問題解決（第2回） | 2 | 11/22<br>｜<br>11/23 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 20 | | ・62.63＜ファーストレベル公開講座＞看護管理に必要な基礎知識第1回or第2回のどちらかを受講する者 | | | | |

| No. | 研修会名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | ステージ | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料(円) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 養成研修　施設の推薦、推薦順位が必要です。また、定員を超えた場合は、協会の基準により選考を行う場合があります。 | | | | | | | | | | | |
| 73 | 医療安全管理者養成 | 6 | 5/18<br>｜<br>5/23 | 3/2<br>｜<br>3/16 | 100 | Ⅳ | 次の要件を全て満たす者<br>1 所属する医療機関で医療安全管理者の任にある者、または今後医療安全管理者の任につく予定の者<br>2 保･助･看<br>3 全日程(6日間)受講できる者<br>4 過去に当協会の「医療安全管理者養成研修」を修了していない者 | ･医療現場における安全管理を理解し、医療の質を保証する役割を担える能力を養う。 | 【医療安全の基礎知識】<br>【看護職の責務と法的責任】<br>【医療安全のための組織的な取り組み】<br>【医療安全管理者の役割と業務】<br>【医療安全のための職員教育】<br>【医療安全とコミュニケーション】<br>【事故発生時の対応の実際】<br>【危険予知訓練の実際】<br>【事例分析の基本的な考え方】<br>【事例分析法】<br>【医療安全管理の実際】<br>(パネルディスカッション)<br>【施設における医療安全管理の課題の明確化】 | 会　員<br>32,400<br>非会員<br>81,000 | 申込書２<br><br>※本研修は、社会保険診療報酬「医療安全対策加算」算定要件内の「医療安全対策に係る適切な研修」に該当し、全日程を受講した者には修了証を発行する。<br>遅刻･早退不可 |
| 74 | 【e-ラーニング活用型】<br>医療安全管理者養成研修<br><br>e-ラーニング視聴期間：8/1-11/15<br>集合研修：10/24-10/26 | | 8/1<br>｜<br>11/15 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 100 | Ⅳ | 次の要件を全て満たす者<br>1 所属する医療機関で医療安全管理者の任にある者または今後医療安全管理者の任につく予定のある者<br>2 保･助･看 | ･医療現場における安全管理を理解し、医療の質を保証する役割を担える能力を養う。 | 申込み方法や研修内容の詳細は、P20【e-ラーニング活用型】医療安全管理者養成研修開催のご案内または北海道看護協会HPを参照してください。<br>また申込み前に、学研メディカルサポートのHPで利用環境を確認し、必ず無料デモ体験をしてください。<br>★利用環境とデモ体験★<br>『STEP-1　お申込み前に…』<br>【http://gakken-meds.jp/apply/ 】<br><br>【修了証授与基準】<br>1 全てのe-ラーニング講義を聴講すること<br>2 集合研修を全日程受講すること(遅刻･早退不可)<br>3 全てのe-ラーニングテストを実施すること<br>4 e-ラーニング・テストで80点(80%)以上を得点すること | 会　員<br>32,400<br>非会員<br>64,800 | 申込書３<br><br>※本研修は、社会保険診療報酬「医療安全対策加算」算定要件内の「医療安全対策に係る適切な研修」に該当し、全日程の受講と左記修了証授与基準を満たした者には修了証を発行する。<br><br>※最小催行人員35名 |
| 75 | **≪新企画≫**<br>ELNEC-J高齢者プログラム | 2 | 8/1<br>｜<br>8/2 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 50 | Ⅲ | ･高齢者ケアに携わって5年以上の者<br>･保･助･看 | ･高齢者の質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供できるように、知識・技術を習得する。 | 【Module1】エンド･オブ･ライフ･ケアにおける看護<br>【Module2】痛みのマネジメント<br>【Module3】症状マネジメント<br>【事例検討】<br>【Module4】エンド･オブ･ライフ･ケアにおける倫理的問題<br>【Module5】エンド･オブ･ライフ･ケアにおける文化への配慮<br>【Module6】コミュニケーション(ロールプレイ)<br>【Module7】喪失･悲嘆･死別<br>【Module8】臨死期のケア<br>【事例検討】<br>【Module9】質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成 | 会　員<br>10,000<br>非会員<br>25,000<br>資料代<br>2,000<br>含む | 申込書２<br><br>※全日程を受講した者には「日本老年看護学会」、「日本緩和医療学会」として「ELNEC-J高齢者カリキュラム看護師教育プログラム修了証」を北海道看護協会会長名で発行する。<br>遅刻・早退不可 |
| 76 | エンド・オブ・ライフ・ケア<br>(ELNEC-J)　(第1回)<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 8/25<br>｜<br>8/26 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 50 | Ⅱ<br>｜<br>Ⅳ | ･ がん看護に3年以上携わっている保･助･看 | ･ 質の高いエンド･オブ･ライフ･ケアを提供できるように、知識･技術を習得する。 | 【エンド･オブ･ライフ･ケア】<br>【Module1】エンド･オブ･ライフ･ケアにおける看護ケア<br>【Module2】痛みのマネジメント<br>【Module3】症状マネジメント<br>【事例検討】<br>【Module5】エンド･オブ･ライフ･ケアにおける文化への配慮<br>【Module7】喪失･悲嘆･死別<br>【Module4】エンド･オブ･ライフ･ケアにおける倫理的問題<br>【Module6】コミュニケーション-患者の意思決定を支えるために-(ロールプレイ)<br>【Module9】高齢者のエンド･オブ･ライフ･ケア<br>【Module8】臨死期のケア<br>【Module10】質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成 | 会　員<br>10,000<br>非会員<br>25,000<br>資料代<br>2,000<br>含む | 申込書２<br><br>※全日程を受講した者には「日本緩和医療学会ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム修了証」を北海道看護協会会長名で発行する。 |
| 77 | エンド・オブ・ライフ・ケア<br>(ELNEC-J)　(第2回)<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 9/3<br>｜<br>9/4 | | 50 | | | | | | |
| 78 | **≪新企画≫**<br>精神科訪問看護基本療養費算定要件 | 3 | 8/28<br>｜<br>8/30 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 100 | Ⅲ<br>｜<br>Ⅳ | ･訪問看護ステーション管理者・従事者、精神科訪問看護・精神科看護に従事する保･看･准 | ･精神科訪問看護基本療養費算定要件を満たす知識・技術を習得する。 | 【精神科訪問看護の実際】<br>【保険・医療サービス提供システムと他職種との連携】<br>【精神科訪問看護の実際】<br>【精神訪問看護の制度・関係する法の概要】<br>【精神障がい者の理解・精神疾患における薬物療法】<br>【事例検討】<br>(グループワーク) | 会　員<br>20,000<br>非会員<br>50,000 | 申込書２<br><br>※全日程を受講した者には診療報酬算定要件研修のため修了証を北海道看護協会会長名で発行する。<br>遅刻・早退不可<br>※保健師、看護師には、精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)(Ⅳ)算定に係わる修了証<br>※准看護師には、精神科訪問看護基本療養費(Ⅰ)(Ⅲ)(Ⅳ)算定に係わる修了証 |

| No. | 研 修 会 名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | ステージ | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料(円) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 79 | 医療安全管理者-フォローアップ- | 1 | 10/2 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 80 | Ⅳ | 1 医療安全管理者養成研修を修了し、現在、医療安全管理者の任にある者<br>2 医療安全管理者養成研修を修了した者 | ・医療安全管理者および養成研修修了者が、組織における安全活動を推進できるよう、知識、技術の向上を図るとともに、安全文化醸成のためのチーム医療構築に向けた自己の役割を理解する。 | 【医療安全活動の実際】<br>【ファシリテーション-話し合う場づくり-】<br>【ファシリテーションの実際】<br>【グループワーク】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | 申込書２<br><br>※看護部門責任者の推薦は不要 |
| 80 | 糖尿病重症化予防（フットケア）に係る | 3 | 10/7<br>｜<br>10/9 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 50 | Ⅲ | 次の要件を全て満たす者<br>1 所属施設が糖尿病合併症管理料を算定するための要件のうち、本研修会を受講すること以外の要件が整っている施設であること<br>2 糖尿病足病変の看護に従事した経験を5年以上有する専任の常勤看護師<br>3 全日程（3日間）受講できること | ・糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、糖尿病足病変に関する看護を実践する知識と技術を養う。 | 【糖尿病足病変-病態生理から治療まで-】<br>【糖尿病足病変のアセスメント】（演習含む）<br>【セルフケア支援】<br>【フットケア技術の実際】<br>（演習）<br>【事例分析と評価方法】<br>（グループワーク） | 会　員<br>20,000<br>非会員<br>50,000 | 申込書２<br><br>※本研修は、社会保険診療報酬「糖尿病合併症管理料」算定要件内の「糖尿病足病変に係る適切な研修」に該当し、全日程を受講した者には修了証を発行する。<br>遅刻･早退不可<br>※以下を持参すること。<br>詳細は受講者に通知する。<br>≪指定図書≫<br>糖尿病看護フットケア技術（第３版）日本看護協会出版会<br>≪持参物品≫<br>打腱器<br>（バビンスキー）<br>アルミ音叉<br>（c-128Hz）<br>モノフィラメント<br>（足用5.07ｻｲｽﾞ）<br>爪用ゾンデ<br>レデューサー<br>爪やすり<br>ニッパー<br>コーンカッター他 |
| 81 | 災害看護Ⅱ（災害支援ナース養成） | 2 | 12/1<br>｜<br>12/2 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 100 | Ⅱ<br>｜<br>Ⅲ | 1 通信研修「災害医療と看護〔基礎編〕」（H25,H26,H27）のいずれかを全日程終了した者<br>2 会員かつ実務経験5年以上の保･助･看･准<br>3 全日程（2日間）受講できること<br>4 災害支援ナース登録が可能な者 | 1 看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者にとって有効に機能できる能力を習得する。<br>2 災害支援ナースとして、他者との協働、自律的な活動の重要性が認識できる。<br>3 北海道看護協会災害支援ナースに登録する者を養成する。 | 【災害医療対応の概要】<br>【災害支援ナースの活動展開】<br>【災害支援ナース活動に必要な知識･スキル】<br>【災害支援ナースの活動の実際】（グループワークによる机上シミュレーション）<br>【災害支援ナース登録オリエンテーション】 | 会　員<br>8,000 | 申込書２<br><br>※全日程を受講した者には修了証を発行する。<br>遅刻･早退不可 |
| 指導者研修 | | | | | | | | | | | |
| 82 | 継続教育担当者のための企画運営 | 1 | 5/15 | | 44 | Ⅳ | ・北海道看護協会支部教育委員　支部推薦２名（教育委員長、教育委員） | ・継続教育を支援するための基本的知識を習得し、教育委員として研修効果を高めるための能力を養う。 | 【北海道看護協会の教育研修事業と教育委員に期待する役割】<br>【継続教育担当者の役割】<br>【研修運営の実際～企画から評価まで～】<br>（演習含む） | | ※支部教育委員の受講希望者は、支部長の推薦を得ること。 |
| 83 | **≪新企画≫**<br>＜公開講座＞<br>継続教育担当者のための企画運営 | 1 | 5/15 | 3/2<br>｜<br>3/16 | 50 | | ・施設内の教育担当者 | | 【継続教育担当者の役割】<br>【研修運営の実際～企画から評価まで～】<br>（演習含む） | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 84 | 看護教員･看護教育担当者のキャリアを充実させる-イキイキと仕事を続けるために- | 3 | 8/8<br>｜<br>8/10 | 5/1<br>｜<br>5/18 | 30 | Ⅱ<br>｜<br>Ⅳ | ・看護師等養成所で教育を担っている者（含む、インストラクター、病院等施設で実習指導および教育委員等の教育を担っている者）<br>・保･助･看<br>・全日程（3日間）参加可能な者 | ・看護教員･教員担当者が自らのキャリアを充実させるために、各自が持つ課題に対して、具体的方法を見出すことができる。 | （1日目）<br>【教員に求められる能力とは】<br>【看護教員のキャリア発達とは】<br>【キャリア発達に関する現状】<br>【求められる学びとキャリア発達】<br>【学びとキャリア発達への取組みの具体例】<br>（2･3日目）<br>【プロジェクト学習とは】<br>【プロジェクト学習の実践】<br>（演習）<br>【プロジェクト学習結果の発表】 | 会　員<br>非会員<br>5,000 | 北海道補助研修 |
| 85 | ＜公開講座：1日目＞<br>看護教員･看護教育担当者のキャリアを充実させる-イキイキと仕事を続けるために- | 1 | 8/8 | | 10 | | ・看護師等養成所で教育を担っている者（含む、インストラクター、病院等施設で実習指導および教育委員等の教育を担っている者）<br>・保･助･看<br>・＜公開講座：2･3日目＞希望者は、2･3日目参加可能な者 | | 上記1日目の内容 | 会　員<br>非会員<br>2,000 | |
| 86 | ＜公開講座：2･3日目＞<br>看護教員･看護教育担当者のキャリアを充実させる-イキイキと仕事を続けるために- | 2 | 8/9<br>｜<br>8/10 | | 10 | | | | 上記2･3日目の内容 | 会　員<br>非会員<br>4,000 | |
| 87 | 臨地実習指導-学生をうけとめて- | 2 | 10/28<br>｜<br>10/29 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 200 | Ⅱ<br>｜<br>Ⅲ | ・施設内で臨地実習の経験がないか、3年以内の者<br>・保･助･看 | ・看護基礎教育における臨地実習指導の意義を理解し、実習の効果的な指導方法を学ぶ。 | 【看護基礎教育の概要】<br>【看護教育における臨地実習の意義】<br>【実習指導病院の役割と体制】<br>【実習指導の実際】<br>【教育施設からの依頼】<br>【情報交換】 | 会　員<br>8,000<br>非会員<br>20,000 | |
| 88 | 魅力ある施設内教育の企画-あなたの組織に合ったプログラムを考えよう- | 3 | 11/25<br>｜<br>11/27 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 100 | Ⅳ | ・施設内の看護職教育に携わり、施設内教育プログラムの構築･運営･評価を担う者<br>・保･助･看 | ・現任教育の重要性を認識し、その展開方法を理解できる。 | 【施設における継続教育】<br>【施設内教育の目的･目標･全体像】<br>【施設内教育計画構築の実際】<br>【年間教育計画の立案】<br>（グループ演習）<br>【グループ演習発表】<br>【自己の課題の確認】 | 会　員<br>11,000<br>非会員<br>27,500 | |

| No. | 研 修 会 名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | ステージ | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料（円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トピックス | | | | | | | | | | | |
| 89 | **≪新企画≫**<br>看護管理-診療報酬改定をさらに経営に活かすために- | 1 | 4/25 | 3/2<br>｜<br>3/16 | 80 | Ⅳ | ・看護管理者の役割にあたっている者（師長職以上）または、看護管理者に準ずる役割にあたっている者（主任職以上）<br>・保･助･看 | ・平成26年度診療報酬改定をふまえ、機能分化・連携の取り組みが推進できる。 | 【平成26年度診療報酬から見えていること】<br>【経営参画するために】<br>【地域包括ケアの時代のマネジメント】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 90 | 特定健診･特定保健指導従事者育成研修-効果的指導へのスキルアップ- | 1 | 9/15 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 50 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅳ | ・特定健診事業の実施機関及び受託機関に所属し、特定保健指導の実務に携わる保健師・看護師 | ・特定健診・特定保健指導従事者が、日頃の保健指導の方法を振り返ることで、対象者の生活改善につながる効果的な保健指導の展開や新たな指導教材の工夫ができる。また、研修での学びを所属でのOJTなど保健指導体制の確立に役立てることができる。 | 【生活習慣改善につなげるための保健指導と評価のポイント】<br>【効果がみえる保健指導】<br>【保健指導の展開】<br>（グループワーク）<br>【意見交換】<br>（グループワーク） | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 91 | **≪新企画≫**<br>看護教員継続研修-授業デザインとリフレクション- | 1 | 12/12 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 50 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅳ | ・看護教員・教育担当者 | ・リフレクションを通して、臨地実習における学生の経験を意味づけし、教材化していく力を養う。 | 【リフレクションの基本となるもの】<br>【学生の臨地実習における経験とは】<br>【臨地実習における経験を客観的に捉えるプロセスについて】 | 会　員<br>5,000<br>非会員<br>12,500 | |
| 北海道委託事業　※この研修は北海道から委託を受けた事業のため、研修参加費は受講料ではなく資料代と標記しています。 | | | | | | | | | | | |
| 92 | 新人看護職員研修-教育担当者- | 3 | 5/13<br>｜<br>5/15 | 3/2<br>｜<br>3/16 | 120 | Ⅳ | 次の2点を実施している教育担当者、または今後教育担当を予定する者<br>1 部署の新人看護職員研修の企画、運営を中心となって担当する者<br>2 実地指導者への助言および指導を行い、新人看護職員への指導評価も行う者 | ・ガイドラインに示されている新人看護職員研修の実施に必要な能力を習得し、部署における適切な研修実施体制を整えることができる。 | 【新人看護職員研修ガイドラインの理解と活用方法】<br>【新人看護職員研修の企画と評価】<br>（演習含む） | 資料代<br>3,000 | |
| 93 | 今、求められている新人教育-新人看護師さんと一緒に学ぼう！-<br>（第1回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 5/30<br>｜<br>5/31 | 3/2<br>｜<br>3/16 | 130 | Ⅱ<br>｜<br>Ⅲ | ・新人看護師の指導に関わる者<br>・新人看護師の指導に関わる者に対して指導･相談にあたる者<br>・保･助･看 | ・新人看護師の特性を理解し、支援体制と支援方法を学ぶ。 | 【新人看護師の理解と実践】<br>【新人看護師支援の実際と評価】<br>（演習含む） | 資料代<br>2,000 | ※申込書には、現在の担当役割を具体的にご記入ください。 |
| 94 | 今、求められている新人教育-新人看護師さんと一緒に学ぼう！-<br>（第2回）<br>※第1回、第2回は同じ内容 | 2 | 12/19<br>｜<br>12/20 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 130 | | | | | | |
| 95 | 新人看護職員研修-研修責任者-～新人看護職員研修と臨床実践の場をつなぐ体制構築を考えよう～ | 3 | 10/20<br>｜<br>10/22 | 7/1<br>｜<br>7/15 | 100 | Ⅳ | ・研修責任者または今後研修責任者担当を予定する者 | ・ガイドラインに示されている新人看護職員研修の実施に必要な能力を習得し、組織における適切な研修実施体制構築および運営ができるとともに、臨床実践につながる体制に関する知識を習得する。 | 【新人看護職員研修の構築と運営】<br>【新人看護職員研修の現状と課題】<br>【新人看護職員研修に関わる看護職員のメンタルサポート】<br>【組織に必要な人材を育成するための企画および評価】 | 資料代<br>3,000 | ※研修責任者とは：施設及び看護部門の教育方針に基づき、教育担当者、実地指導者及び看護職員の研修プログラムの策定、企画及び運営に対する指導及び助言を行う者である。そして、研修の企画・運営・実施・評価の全ての過程における責任者である。 |
| 96 | 集まれ！！新人助産師さん-日ごろの疑問を解決しよう-（妊娠期） | 1 | 12/8 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 30 | Ⅰ | ・新人助産師 | ・周産期における基本的知識について学び、新人助産師の質の向上および医療安全の確保を図る。 | 【今、助産師に求められる役割と機能とは】<br>【妊娠期のフィジカルアセスメント】<br>【情報交換】 | 資料代<br>1,000 | |
| 97 | 集まれ！！新人助産師さん-日ごろの疑問を解決しよう-（分娩期･産褥期･新生児期） | 1 | 12/9 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 30 | Ⅰ | ・新人助産師 | ・周産期における基本的知識について学び、新人助産師の質の向上および医療安全の確保を図る。 | 【分娩期･産褥期のフィジカルアセスメント】<br>【新生児のフィジカルアセスメント】<br>【情報交換】 | 資料代<br>1,000 | |
| インターネット配信研修〔リアルタイム〕配信元：神戸研修センター（日本看護協会主催） | | | | | | | | | | | |
| 98 | 災害医療と看護〔基礎編〕<br>（札幌市） | 2 | 7/9<br>｜<br>7/10 | 4/1<br>｜<br>4/15 | 150 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅲ | ・保･助･看･准 | ・「災害医療と看護」の基礎編と位置づけ、災害支援に必要な災害医療と看護の基礎知識および災害発生時から長期的支援について学ぶ。 | 【災害医療の基礎知識】<br>【災害サイクルに応じた看護】<br>【災害支援活動に必要なこころのケア】<br>【災害支援活動における本会の取り組み】 | 会　員<br>6,156<br>非会員<br>9,288 | ※災害時の看護支援活動および災害支援ナース育成に連動した研修 |
| 99 | **≪新企画≫**<br>高齢者の終末期ケアにおける倫理的問題<br>（札幌市） | 1.5 | 11/19<br>｜<br>11/20 | 9/1<br>｜<br>9/15 | 100 | Ⅰ<br>｜<br>Ⅲ | ・保･助･看･准 | ・病態が複雑かつ虚弱な高齢者が、安らかな最期を迎えるための医療のあり方と、終末期における倫理的問題について理解を深め、よりよいケアについて考える。 | 【高齢者医療が直面する課題】<br>【終末期における倫理的問題】<br>【意思決定プロセス】<br>【日々のケアから倫理的な問題を考える】 | 会　員<br>5,184<br>非会員<br>7,668 | |

| No. | 研 修 会 名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | ステージ | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料(円) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インターネット配信研修〔オンデマンド〕配信元：看護研修学校（日本看護協会主催） | | | | | | | | | | | |
| 100 | **≪新企画≫**<br>新人看護職員のための夜勤･交代制勤務を充実させるセルフマネジメントスキル（札幌市） | 0.5 | 7/7 | 4/1<br>～<br>4/15 | 50 | Ⅰ | ･新人看護職員 | ･新人看護職員が自ら健康を維持する重要性に気づき、夜勤や交代制勤務に関わる負担を軽減するための日常生活での工夫を学び、自身の日常生活に取り入れることができる。 | 【看護職の夜勤・交代制勤務の特性】<br>【夜勤・交代制勤務の負担軽減に取り組む必要性】<br>【個人で取り組める対策】 | 会　員<br>4,104<br>非会員<br>6,264 | |
| 101 | 同上（旭川市） | | | | 30 | | | | | | |
| 102 | 同上（釧路市） | | | | 30 | | | | | | |
| 103 | 同上（函館市） | | | | 30 | | | | | | |
| 104 | **≪新企画≫**<br>一般病院における認知症ケアの質向上のための看護管理者の役割～急性期医療を受ける認知症高齢者に対するために～（札幌市） | 0.5 | 7/8 | 4/1<br>～<br>4/15 | 50 | Ⅲ<br>～<br>Ⅳ | ･看護師長に相当する職位以上にある看護管理者<br>･指導的立場にある看護師 | ･超高齢社会で増加し続ける認知症患者に適切に対応するため、病態や認知症患者を正しく理解するとともに、一般病院における認知症患者の質の高い看護ケアマネジメントを学ぶ。 | 【保健医療福祉政策・制度の動向と認知症高齢者の実態】<br>【認知症および認知症高齢者の理解と対応】<br>【認知症高齢者ケアにおける看護管理者の役割】<br>【その人らしい暮らしを守る地域連携と看護管理者の役割】 | 会　員<br>4,104<br>非会員<br>6,264 | |
| 105 | 同上（旭川市） | | | | 30 | | | | | | |
| 106 | 同上（釧路市） | | | | 30 | | | | | | |
| 107 | 同上（函館市） | | | | 30 | | | | | | |
| 108 | **≪新企画≫**<br>助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証申請のための必須研修(札幌市)<br>1)子宮収縮薬使用時の助産ケアのポイント<br>2)産科領域で役立つ！脳神経系のフィジカルアセスメント<br>3)産科領域で役立つ！呼吸器・循環器系のフィジカルアセスメント<br>4)産科領域で役立つ！代謝系のフィジカルアセスメント<br>※日本看護協会の４つの研修を合わせた企画 | 1 | 7/22 | 5/1<br>～<br>5/18 | 30 | Ⅰ<br>～<br>Ⅳ | ･助産師、産科領域に勤務する看護職 | 1 子宮収縮薬使用時の助産ケアのポイントについて理解する。<br>2 妊娠期・分娩期・産褥期における脳神経系・呼吸器・循環器系・代謝系に関するフィジカルアセスメントについて学ぶ。 | 【陣痛誘発と陣痛促進時に使用する子宮収縮薬の投与について】<br>【子宮収縮薬使用時のインシデント・アクシデント】<br>【子宮収縮薬使用時の助産ケアの実際】<br>【妊娠期・分娩期・産褥期の脳神経系・呼吸器・循環器系・代謝系の特徴】<br>【フィジカルイグザミネーション】<br>【妊娠期・分娩期・産褥期に起こりやすい脳神経系・呼吸器・循環器系等の疾患と観察の視点】<br>【生活の調整】　他 | 会　員<br>8,208<br>非会員<br>12,528 | ※助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証申請のための必須研修 |
| 109 | **≪新企画≫**<br>夜勤･交代制勤務ガイドライン導入のための実践方法を知る～夜勤負担を軽減した勤務づくりを目指して～〔理論編〕･〔運用編〕（札幌市）<br>※日本看護協会の２つの研修を合わせた企画 | 0.5 | 10/23 | 7/1<br>～<br>7/15 | 50 | Ⅰ<br>～<br>Ⅳ | ･保･助･看･准 | 1 看護職の勤務環境の改善につながる夜勤・交代制勤務ガイドライン導入に向けた基本的な考え方を理解する。<br>2 看護職の勤務環境の改善につながる夜勤・交代制勤務ガイドライン導入に役立つ実践的な方法を学ぶ。 | 【夜勤・交代制勤務の負担軽減に取り組む必要性】<br>【「勤務編成の基準」の理解と運用のポイント】<br>【夜勤・交代制勤務の労働時間管理】<br>【「勤務時間設計」のヒント】<br>【先行事例に学ぶ「ガイドライン」導入のポイント】<br>【「休み方」について考えてみよう】<br>【成功する導入プロセスとは？】<br>他 | 会　員<br>4,104<br>非会員<br>6,264 | |
| 看護補助者研修 | | | | | | | | | | | |
| 110 | チームの中で看護補助者の力を発揮しよう | 1 | 11/5 | 9/1<br>～<br>9/15 | 250 | | ･看護補助者 | 1 倫理の必要性を理解し､倫理的な感受性を高める。<br>2 医療チームの一員としての役割を知る。 | 【医療･福祉現場で看護補助者に求められる倫理】<br>【チーム医療の機能と役割】<br>【看護補助者の業務上の責任】 | 4,000 | 申込書４ |

| 研 修 会 名 | 日数 | 開催期間 | 応募期間 | 定員 | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料(円) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 訪問看護師養成講習会公開講座 | | | | | | | | | |
| 呼吸管理 | 1 | 5/20 | 1/5<br>I<br>3/31 | 40 | 保健師、助産師、看護師、准看護師の資格があり、以下に該当する者<br>・現在、訪問看護に関わっている者<br>・将来、訪問看護に従事したいと考えている者 | カリキュラム、開催要領はP25、北海道看護協会ホームページを参照ください。<br>＜教育研修→研修会年間計画→訪問看護師養成講習会＞ | | 各<br>1,000 | 申込書７ |
| フィジカルアセスメント | 1 | 5/25 | | 40 | | | | | |
| 精神症状のある在宅療養者の看護 | 1 | 5/26 | | 40 | | | | | |
| スキンケア | 1 | 5/27 | | 40 | | | | | |
| ターミナルケア<br>（終末期ケア） | 1 | 5/28 | | 40 | | | | | |
| 認知症の看護 | 1 | 6/2 | | 40 | | | | | |
| 感染管理 | 1 | 6/3 | | 40 | | | | | |
| 難病患者の看護 | 1 | 6/8 | | 40 | | | | | |
| 栄養管理 | 1 | 6/9 | | 40 | | | | | |
| 排泄ケア | 1 | 6/12 | | 40 | | | | | |
| 面接技術 | 1 | 6/15 | | 40 | | | | | |

平成27年度

e-ラーニング活用型

研修主催　公益社団法人北海道看護協会
研修共催・運営　株式会社学研メディカルサポート

# 医療安全管理者養成研修のご案内

## 通えない…まとまった時間がとれない方に最適です！
## e-ラーニングは，いつでも，何回でも視聴（受講）できます。

**社会保険診療報酬「医療安全加算」算定要件内の**
**「医療安全対策に係る適切な研修」に該当します**

監修者 **杉山良子先生**
前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長

医療施設における「医療安全管理者」の役割は、ますます重要性を増しています。ただし、中小病院をはじめとして、6日から7日間の決まった日に、研修を受講することが困難な受講希望医療者も多いと言われています。当研修プログラムでは、第一線でご活躍の一流講師陣によるe-ラーニングと、3日間16時間の集合研修で、40時間以上の研修を受講できるようにしました。また、医療安全管理者の対象となるすべての医療者に受講いただける内容ですが、とりわけ対象となる人数の多い「看護師」を意識して構成しております。真に「学習したい」「学習させたい」層への学習機会の切り札として、今回 e-ラーニング・集合研修兼用のプログラムを開発しました。このご機会にぜひ、お申し込みのうえご活用いただければ幸いです。

**開催期間：平成 27 年 8 月 1 日(土)～11 月 15 日(日)**

**集合研修：①事例分析の意義と手法（河野龍太郎先生）**
平成 27 年　10 月 24 日(土)　13：00～18：00
10 月 25 日(日)　9：00～12：00

**集合研修：②医療安全管理者の役割と活動の実際（杉山良子先生）**
平成 27 年　10 月 25 日(日)　13：00～17：30
10 月 26 日(月)　9：00～12：30

**受講対象：**
1. 所属する医療機関で医療安全管理者の任にある者または今後医療安全管理者の任につく予定のある者
2. 施設長または看護部門の責任者の推薦を得られる者
3. 保健師、助産師、看護師

**受講料：** 会員：32,400 円(税込)　非会員：64,800 円(税込)
**定　員：** 100 名（最低催行人数 35 名）

**申込方法**
1. **インターネット申し込み**……北海道看護協会ホームページから学研メディカルサポートホームページにリンクしています。
また学研メディカルサポートホームページから直接お申し込みもできます。
2. **FAX 申し込み**
学研メディカルサポートに直接FAXを送信してください。

※申込書は、**平成27年度北海道看護協会教育研修計画**内または**北海道看護協会**ホームページ内「**申込書 3**」を使用してください。

## ▶▶研修カリキュラム（e-ラーニング研修）

| | 科目・内容 | 講義(h)（テスト時間含む） | 講師（敬称略） |
|---|---|---|---|
| 1 | 医療安全の考え方 | 3 | 鮎澤 純子（九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学専攻 准教授）<br>後　信　（九州大学病院医療安全管理部 教授） |
| 2 | 日本における医療安全の政策 | 1.5 | 小林　美雪<br>（山梨県立大学看護学部 成人看護学領域 講師） |
| 3 | 事故発生のメカニズム | 2 | 河野 龍太郎<br>（自治医科大学 メディカルシミュレーションセンター センター長 医療安全学教授） |
| 4 | 医療における業務プロセスと標準化 | 2 | 棟近 雅彦<br>（早稲田大学 理工学術院 教授） |
| 5 | 医療安全の啓発と教育 | 2 | 棟近 雅彦　（早稲田大学 理工学術院 教授）<br>梶原 千里　（早稲田大学 創造理工学研究科） |
| 6 | 医薬品の安全管理 | 2 | 荒川 隆太郎<br>（渕野辺総合病院 薬剤部長） |
| 7 | 医療機器の安全管理 | 2 | 黛　成彦<br>（済生会横浜市東部病院 TQM センター 医療安全管理室 / 医療安全推進担当／臨床工学技士） |
| 8 | 臨床現場におけるエラーや事故 | 4 | 杉山 良子　（前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長）<br>黒川 美知代（武蔵野赤十字病院 医療安全推進室 専従リスクマネージャー） |
| 9 | 医療の質改善の考え方（事例分析から改善へ） | 1.5 | 井上 則雄<br>（竹中工務店 大阪本店 企画管理グループ） |
| 10 | 事故発生時の対応 | 3.5 | 伊東 亜矢子（新星総合法律事務所 / 弁護士）<br>河上 章恵　（武蔵野赤十字病院　患者相談室 室長／医療メディエーター） |
| 11 | 患者・家族とのパートナーシップによる医療安全 | 1.5 | 山内 桂子<br>（東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室主席研究員 / 医療社会心理学） |
| 12 | 危険予知トレーニング（KYT） | 2 | 杉山 良子<br>（前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長） |
| 13 | 海外とわが国の医療安全の取り組みと医療者間のコミュニケーション | 2.5 | 種田 憲一郎<br>（WHO西太平洋地域事務局） |
| 14 | 安全文化の醸成 | 1.5 | 杉山 良子<br>（前 日本赤十字社 事業局 医療事業部 医療安全課長） |
| 15 | 医療事故をめぐる組織的対応の実際 | 2 | 長尾 能雅<br>（名古屋大学医学部附属病院副病院長） |

※やむを得ない事情により、タイトルや講師が変わることがあります。

**お問い合わせ先・お申し込み先**

北海道看護協会事業部教育課 …… TEL：011-861-3273
学研メディカルサポート医療安全研修係 …… TEL：03-6431-1228
お申し込みFAXまたはホームページ（学研メディカルサポート）…… FAX：03-6431-1414
URL：http://gakken-meds.jp/

# Ⅱ　認定看護管理者教育課程（ファースト・セカンドレベル）募集要項

**公益社団法人北海道看護協会　認定看護管理者教育課程の教育理念**

人々に質の高い看護を適切かつ効率的に提供するために、管理者として柔軟な判断力や実行力を持ち、リーダーシップとマネジメント能力を発揮できる人材を育成する。

| | ファーストレベル | セカンドレベル |
|---|---|---|
| 教育目的 | 1 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。<br>2 看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を習得する。<br>3 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力を高める。 | 1 第一線監督者または中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。<br>2 施設の理念ならびに看護部門の理念との整合性をはかりながら担当部署の看護目標を設定し、その達成をめざして看護管理過程が展開できる能力を高める。 |
| 科目・時間・ねらい | **科目名：看護管理概論【15 時間】**<br>1. 看護管理に必要な知識体系を学び、看護管理への活用を理解する。<br>2. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察する。 | **科目名：看護組織管理論【45 時間】**<br>1. 組織運営に関する諸理論に基づき担当部署の看護管理過程を評価し、質向上のための方策を見いだす。 |
| | **科目名：看護専門職論【30 時間】**<br>1. 拡大・変化する看護専門職の機能と活動範囲を予測し、看護実践の改善に向け考察する。<br>2. 看護職の自律性と責務を理解する。<br>3. 看護に関連する法律や制度の変化を捉え、看護管理の視点で変化の意義や適応を理解する。 | **科目名：人的資源活用論【45 時間】**<br>1. 組織の理念、経営目標を達成するための中心的要素である人材の確保・育成・活用等人的資源管理に必要な知識・技術態度について理解できる。<br>2. 看護職者のキャリア開発について概念・理論、具体的方法について理解できる。 |
| | **科目名：ヘルスケアシステム【15 時間】**<br>1. ヘルスケアシステムの構造と現状、保健医療福祉制度を理解する。<br>2. 保健医療福祉制度の変化が看護管理に与える影響を理解する。 | **科目名：ヘルスケアサービス管理論【45 時間】**<br>1. 保健・医療・福祉サービスを提供する上で必要な基本的考え方と具体的な方法について理解できる。<br>2. 他職種・他部門・ 他施設・地域等との協働・連携の方法論について理解できる。 |
| | **科目名：看護サービス提供論【30 時間】**<br>1. サービスの基本的概念を理解する。<br>2. 看護サービスの対象となる人々の権利を尊重し看護サービスの提供過程を理解する。<br>3. 安全を保障しながらより質の高い看護サービスを提供する方法を理解する。<br>4. 看護サービス提供上の問題を論理的に解決する思考を学ぶ。 | **科目名：医療経済論【30 時間】**<br>1. 医療経済論の構造・現状について学び、変革が進む医療システムについて理解できる。 |
| | **科目名：グループマネジメント【30 時間】**<br>1. 組織集団の基本概念、集団の力動的諸機能を理解する。<br>2. 看護チームにおけるリーダーの役割、医療チームにおける看護の役割を理解し、連携、協働のあり方を学ぶ。<br>3. 組織目的の達成に向けてメンバーが行動を取れるように諸理論の活用を考察する。 | **科目名：統合演習【15 時間】**<br>1. 教科目で学習した内容を統合活用し、看護管理の実践の向上をめざす。 |
| | **科目名：人材育成論【15 時間】**<br>1. 人材育成のための基本的な概念を理解する。<br>2. 現場（看護単位）における後輩育成や指導方法を理解する。 | |
| | **科目名：看護情報論【15 時間】**<br>1. 情報の概念と特徴を理解し、倫理的な取り扱いを学ぶ。<br>2. 患者ケアに役立ち、看護の質改善に資する情報管理のあり方を学ぶ。 | |
| | 教科目数：7科目総時間：156 時間（ガイダンス他 6 時間含） | 教科目数：5科目　総時間：186 時間（ガイダンス他 6 時間含） |

※カリキュラムの詳細は、公益社団法人北海道看護協会ホームページをご覧ください。≫認定教育
http://www.hkna.or.jp/index.html

| | ファーストレベル【第 1 回・第 2 回】 | セカンドレベル |
|---|---|---|
| 期間 | ■申込み期間　　平成 27 年 4 月 1 日～20 日<br>■受講決定通知　 7 月下旬<br>■開催期間（156 時間　26 日間）<br>第 1 回：平成 27 年　9 月 10 日～10 月 21 日<br>第 2 回：平成 27 年 11 月 12 日～12 月 18 日<br>■修了審査結果通知<br>第 1 回：平成 27 年　12 月下旬<br>第 2 回：平成 28 年　 2 月下旬 | ■申込み期間　平成 27 年 3 月 2 日～20 日<br>■受講決定通知　 5 月中旬<br>■開催期間　（186 時間　31 日間）<br>平成 27 年 7 月 1 日～8 月 13 日<br>■修了審査結果通知<br>平成 27 年 10 月下旬 |
| 定員 | 第1回：80 名　 第2回：80 名 | 50 名 |
| 受講要件 | 1 日本の看護師免許を有する者。<br>2 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。<br>3 管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することを期待されている者。 | 1 日本の看護師免許を有する者。<br>2 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。<br>3 認定看護管理者ファーストレベル教育課程を修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。 |
| 選考方法 | 1）受講要件を満たしている。<br>2）応募が定員を超過した場合。<br>1施設 1 名とする。ただし、病院の施設規模による病床数を考慮する。 | 1）受講要件を満たしている。<br>2）応募が定員を超過した場合。<br>①1施設 1 名とする。ただし、病院の施設規模による病床数を考慮する。<br>②師長職の経験、看護管理経験を考慮する。 |
| 必要書類 | 1） 認定看護管理者教育課程受講申込書<br>2） 返信用封筒（A4サイズが折らずに入る封筒に返信先の住所と氏名を明記し、250 円切手を貼付） | 1）認定看護管理者教育課程受講申込書<br>2）ファーストレベル修了証の写し又は勤務証明書（要件看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者のみ。）<br>3）返信用封筒（A4サイズが折らずに入る封筒に返信先の住所と氏名を明記し、250 円切手を貼付） |
| 受講料 | 会　 員：108,000 円(審査料込)<br>非会員：162,000 円(審査料込) | 会　 員：171,000 円(審査料込)<br>非会員：256,500 円(審査料込) |
| 修了要件・審査方法 | 1） 教科目別時間数の4／5以上を出席していること<br>2） 教科目レポート審査に合格していること（ファースト：7 科目、セカンド：5 科目） | |
| | 修了要件を満たしている受講者について、認定看護管理者運営委員会において修了審査をおこなう。 | |

応募先

〒003-0027　札幌市白石区本通 17 丁目北 3 番 24 号　公益社団法人北海道看護協会教育課宛て

封筒には、ファーストレベル or セカンドレベル在中と記載ください。

※応募は、郵送のみでの受付となります。応募期間最終日は、17：00 必着となります。ご注意ください。

※申込書はコピーまたは北海道看護協会ホームページよりダウンロードください。

**その他**

※教育課程の時間割は、土・日・祭日も講義があり、土・日・祭日含めての参加調整が必要となります。また、講師の都合や天候による交通事情等で期間中は、時間割の変更もあります。

※ファーストレベルの受講期間については、応募人数により第1回・第2回で調整する場合があります。

# 認定看護管理者教育課程申込書
【ファーストレベル・セカンドレベル】

○各欄には正確に記載し、また該当するものには、レ点をつけてください。
○ファーストレベルは、開催期間の希望に合わせ、第 1 回・第 2 回にレ点をつけてください。
（受講期間については、応募人数により、第 1 回・第 2 回で調整する場合があります。）

<table>
<tr><td rowspan="3">コース名</td><td colspan="3">☐ ファーストレベル<br>・第一希望：☐1 回目　☐2 回目<br>・第二希望：☐1 回目　☐2 回目</td><td colspan="3">☐ 会員（☐ 手続き中）<br>北海道看護協会会員番号<br>支部名（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="3">開催期間（第一希望：　　月　　日 ～　　月　　日）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">☐ セカンドレベル</td><td colspan="3">☐非会員</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td></td><td>生 年 月 日</td><td>性別</td><td>職種</td><td>実務経験</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td></td><td>昭和　　年　　月　　日</td><td>☐男<br>☐女</td><td>☐保<br>☐助<br>☐看</td><td>年</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td></td><td>病床数（入所定員数）</td><td colspan="3">勤 務 領 域</td></tr>
<tr><td>施 設 名</td><td></td><td>床（名）</td><td colspan="3">（例：病棟・外来・救急部門等）</td></tr>
<tr><td>施設住所</td><td colspan="2">〒　　ー</td><td>電話番号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>自宅住所</td><td colspan="2">〒　　ー</td><td>電話番号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">看護管理<br>経験年数</td><td>職位</td><td>在籍年数</td><td>職位</td><td colspan="2">在籍年数</td></tr>
<tr><td></td><td>年　　か月</td><td></td><td colspan="2">年　　か月</td></tr>
<tr><td></td><td>年　　か月</td><td></td><td colspan="2">年　　か月</td></tr>
<tr><td></td><td>年　　か月</td><td></td><td colspan="2">年　　か月</td></tr>
<tr><td colspan="6">この教育課程における応募の動機・学習課題についてお書きください。</td></tr>
</table>

〈個人情報の取扱い〉
本協会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。本課程申込みに際して得た情報は、教育課程申込みに伴う書類発送、研修運営、評価に用い、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはいたしません。この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

〈会員番号　生年月日について〉
会員番号は、会員の有無、受講決定通知送付など事務処理上に使用します。また、生年月日は、会員本人確認のためと修了証明書に明示するために使用いたします。

# 勤 務 証 明 書

西暦　　年　　月　　日

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. 在職期間
上記の者は当施設において、以下のとおり勤務していることを証明します。

西暦＿＿＿＿＿年　＿＿＿月　より、

西暦＿＿＿＿＿年　＿＿＿月　まで　　通算＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿月間

2. 職位
上記の者は当施設において、以下の職位であることを証明します

西暦＿＿＿＿＿年　＿＿＿月　より、

西暦＿＿＿＿＿年　＿＿＿月　まで　　職位＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

施 設 名：

所 在 地：

施設長名：　　印

備考：セカンドレベル受講要件「看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。」のみ提出。

# Ⅲ　訪問看護師養成講習会（北海道委託事業）募集要項

| 研修会名 | 訪問看護師養成講習会 | 公開講座 |
|---|---|---|
| 目　的 | 訪問看護に携わる看護師に対して訪問看護事業の実施に必要な基本的知識と技術を修得し、質の高い訪問看護の提供ができる。 | 在宅ケアに関する最新情報を確認し、特定領域における知識・技術を修得する。 |
| 研修期間 | **平成27年5月13日(水)～6月26日(金)**<br>31日間(土日祝祭日を除く) | 左記の期間中<br>11回（各1日間） |
| 応募期間 | **平成27年1月5日(月)～ 3月31日(火)** | |
| 応募方法 | 「申込書6」を使用し、お申し込みください。 | 「申込書7」を使用し、お申し込みください。<br><br>詳細は、北海道看護協会ホームページ<br>＜教育研修→研修会年間計画→訪問看護師養成講習会＞ |
| 定　員 | 40名 | 各40名 |
| 受講資格 | 保健師、助産師、看護師、准看護師の資格があり、以下に該当する者<br>・これから訪問看護を始めようとする者又は訪問看護に従事している者<br>・3年以上の看護職の実務経験がある者 | 保健師、助産師、看護師、准看護師の資格があり、以下に該当する者<br>・現在、訪問看護に関わっている者<br>・将来、訪問看護に従事したいと考えている者 |
| 資料代 | 31,000円<br>＊受講決定通知書に払込取扱票を同封します。 | 1日1,000円<br>＊受講決定通知書に払込取扱票を同封します。 |
| 修了証書 | 28日間以上の出席で修了証書を交付します。 | |
| 受講決定 | 文書で通知します。(4月中旬予定) | |
| 送付先<br>お問合せ先 | 事業部教育課TEL　011－861－3273　FAX　011－863－3204 | |

## ■ 訪問看護師養成講習会カリキュラム概要　　※詳細は北海道看護協会ホームページを参照ください。

| 科目 | 日数 | 内　容 |
|---|---|---|
| Ⅰ　訪問看護概論 | 2 | 1.保健医療福祉の動向　2.訪問看護の役割・機能・特性<br>3.法制度による訪問看護の位置付け |
| Ⅱ　訪問看護対象論 | 1.5 | 1.対象の理解　2.家族の理解　3.地域環境の理解 |
| Ⅲ　訪問看護展開論 | 1 | 1.訪問看護過程の理解　2.訪問の進め方の理解<br>3.主治医等との協働の理解 |
| Ⅳ　在宅ケアシステム論 | 2 | 1.在宅ケアに関わる保健医療福祉施策<br>2.在宅ケアにおける看護職能の役割と課題<br>3.関係機関の機能と関係職種の役割<br>4.ケアマネジメントの機能・展開者法の理解 |
| Ⅴ　訪問看護技術 | 17 | 1.療養生活の援助　**2.面接技術**　**3.栄養管理**　**4.排泄ケア**<br>**5.スキンケア**　**6.フィジカルアセスメント**　7.服薬管理　**8.感染管理**<br>9.急変時の看護　**10.ターミナルケア(終末期ケア)**<br>11.在宅輸液管理　**12.認知症の看護**　13.リハビリテーション看護　**14.呼吸管理**<br>**15.精神症状のある在宅療養者の看護**　**16.難病患者の看護**<br>17.小児・障がい児看護　18.訪問看護経営管理<br>**※色文字は公開講座の単元です。(2.3.4.5.6.8.10.12.14.15.16)** |
| Ⅵ　実習 他 | 5 | ・実習(施設見学・施設実習・カンファレンス) |
| Ⅶ　総合演習・その他 | 2.5 | ・開講式　・ガイダンス　・ヒューマンネットワーク<br>・総合演習　・全体会　・閉講式 |
| 合計 | 31 | ＊28日間以上の出席で修了証書を交付します。 |

# Ⅳ　支部担当研修会（北海道補助研修）

＊ 所属している支部のみでなく、どこの支部担当研修会にも応募することができます。
＊ 医療・介護関係者の方も応募可能な研修会があります。（対象をご確認ください）
＊ 受講料は受講料払込取扱票による入金となります。（会員・非会員同額）
＊ 支部の都合により研修内容・開催日時等が変更となる場合があります。北海道看護協会ホームページで最新情報をご確認のうえお申し込みください。
＊ 申込方法：研修会申込書5に必要事項を記入し、北海道看護協会総務部総務課まで(P3参照)お申込みください。

| 担当支部 | 研修会名 | 開催期間<br>開催地 | 日数 | 応募期間 | 定員 | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 道南北 | 急変時の対応と心肺蘇生法 | 6/26<br>八雲町 | 1 | 5/6～5/20 | 20 | 保・助・看・准<br>医療・介護関係者 | 救急の基礎知識を学び適切な判断ができ、心肺蘇生が実践できる。 | ・看護の動向<br>・救急・急変時の初期対応<br>・BLSの実際 | 1,000 |
| 後志 | やってみよう！看護研究 | 7/25<br>余市町 | 1 | 6/3～6/17 | 30 | 保・助・看・准 | 日々の看護の疑問や未知なことを看護研究に取り組むことで明らかにしていき、研究の楽しさ・おもしろさを体得しながら研究を進める技法を学ぶ。 | ・看護の動向<br>・看護研究を苦手としている看護師へわかりやすく日常の看護が研究に変わる学び | 1,000 |
| 日高 | 尊厳を守るケア目指して−身体拘束を考える− | 7/25～7/26<br>浦河町 | 2 | 6/3～6/17 | 50 | 保・助・看・准<br>医療・介護関係者 | ・適切なアセスメントのケアにより身体拘束廃止の実際を学ぶ。<br>・実際の事例を用いながら検討を行い、実践に繋げていく。 | ・看護の動向<br>・身体拘束廃止について<br>・自立に向けた適切なケア<br>・高齢者の尊厳<br>・身体拘束の見直し<br>・事例検討 | 2,000 |
| 札幌第4※ | 看護過程 | 8/20～8/21<br>札幌市 | 2 | 7/1～7/15 | 30 | 保・助・看 | 看護過程を理解し、看護活動への活かし方を学ぶ。 | ・看護の動向<br>・看護過程の講義<br>・事例検討（グループワーク） | 2,000 |
| 道南南 | 現場で活かせるフィジカルアセスメント | 8/21～8/22<br>函館市 | 2 | 7/1～7/15 | 70 | 保・助・看・准 | フィジカルアセスメントの重要性を理解し、観察の視点、手法を学ぶ事ができる。 | ・看護の動向<br>・フィジカルアセスメントの重要性<br>・観察の視点・手法 | 2,000 |
| 上川北 | 在宅医療の推進に向けて−安心して在宅医療を続けられるために− | 8/22<br>士別市 | 1 | 7/1～7/15 | 50 | 保・助・看・准<br>医療・介護関係者 | 在宅医療の推進に向け、看護職が現状と課題を理解し、関係する多職種と連携する大切さと、自ら果たす役割について考えることができる。 | ・看護の動向<br>・在宅医療の現状と課題<br>・医療機関から在宅へスムーズにつなげるための連携の重要性<br>・グループワーク（在宅医療の推進に向け、私たちが果たす役割を考える） | 1,000 |
| 札幌第1 | 看護実践に活かすフィジカルアセスメント | 9/3～9/4<br>札幌市 | 2 | 7/15～7/29 | 100 | 保・助・看・准 | 看護実践の基盤であるフィジカルアセスメントを学び、日々の看護実践に活かす。 | ・看護の動向<br>・フィジカルアセスメントの意義<br>・フィジカルアセスメントの実際 | 2,000 |
| 札幌第2 | 看護師長補佐 | 9/3～9/4<br>札幌市 | 2 | 7/15～7/29 | 56 | 看護副師長・主任・師長補佐の任にある者で2日間とも終日参加できる者 | 師長補佐の立場及び役割を認識し、今後の自己の課題を明らかにする。 | ・看護の動向<br>・看護管理の基本<br>・スタッフ育成<br>・師長補佐の役割と実際<br>・グループワーク | 2,000 |
| 釧路 | 看護過程と看護記録 | 9/3～9/4<br>釧路市 | 2 | 7/15～7/29 | 60 | 保・助・看・准 | 看護過程及び看護記録を理解し、看護活動への活かし方を学ぶ。 | ・看護の動向<br>・看護過程とその構成要素<br>・看護過程の展開方法<br>・看護過程の展開<br>・看護過程と看護記録 | 2,000 |
| 室蘭 | 糖尿病患者の看護<br>−血糖パターンマネジメントの実際− | 9/5<br>室蘭市 | 1 | 7/15～7/29 | 50 | 保・助・看・准 | 患者を生活者として捉え、生活を包括的にアセスメントでき、患者の生活にあった薬物療法について考えることができる。 | ・看護の動向<br>・講義1　看護師が行うパターンマネジメントとは<br>・講義2　血糖パターンの見方・責任インスリン・スライディングスケール<br>・講義3　高齢者とインスリン療法<br>・グループワーク | 1,000 |
| 上川南 | 看護実践に活かせるフィジカルアセスメント | 9/5～9/6<br>旭川市 | 2 | 7/15～7/29 | 40 | 保・助・看・准<br>（2日間出席可能な者） | フィジカルアセスメントの基礎を学び、日々の看護実践に活かす。 | ・看護の動向<br>・フィジカルアセスメント（循環器・呼吸器・消化器・意識）の講義及び実技<br>・事例検討 | 2,000 |

| 担当支部 | 研修会名 | 開催期間<br>開催地 | 日数 | 応募期間 | 定員 | 対象 | 研修目的 | 主な研修内容 | 受講料<br>（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 遠紋 | 認知症の理解と看護 | 9/10～9/11<br>紋別市 | 2 | 7/22～8/5 | 30 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | 認知症の理解を深め、事例を通し適切な看護を学ぶ。 | ･看護の動向<br>･認知症の基礎知識を学ぶ<br>･病院や施設での適切な対応を学ぶ<br>･患者の行動からアセスメントできる | 2,000 |
| 苫小牧 | フィジカルアセスメント（アドバンスコース） | 9/12<br>苫小牧市 | 1 | 7/22～8/5 | 50 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | 基礎をふまえたフィジカルアセスメントの応用について理解する。 | ･看護の動向<br>･事例検討 | 1,000 |
| 北網 | 認知症高齢者ケア | 9/13<br>美幌町 | 1 | 7/22～8/5 | 30 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | 認知症の理解を深め、その人に合わせた具体的な支援方法を学ぶことができる。 | ･看護の動向<br>･認知症の基礎知識<br>･加齢による変化<br>･認知症ケアにおける倫理<br>･認知症高齢者の具体的支援 | 1,000 |
| 小樽 | 終末期を迎える認知症患者の看護 | 10/1<br>小樽市 | 1 | 8/12～8/26 | 30 | 保･助･看･准 | 高齢化が進む地域において、認知症を理解し、対処方法を学び、終末期を迎える認知症患者の看護に活かす事ができる。 | ･看護の動向<br>･認知症の基礎知識<br>･認知症患者家族とのかかわり<br>･意思決定支援についての講義と演習 | 1,000 |
| 南空知 | 看護ケアの質評価 | 10/1～10/2<br>岩見沢市 | 2 | 8/12～8/26 | 60 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | 1　患者に行われた看護ケアが適切に行われたか評価し、看護の質の向上を図る。<br>2　臨床現場で倫理的観点から物事を捉え、問題を顕在化させ検討することが出来る。 | ･看護の動向<br>･看護ケアの質について<br>･質の高い看護実践に向けて | 2,000 |
| 稚内 | フィジカルアセスメント | 10/2<br>･<br>10/3<br>稚内市 | 各1 | 8/12～8/26 | 各40 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | フィジカルアセスメントの意義を理解し、理論に基づいた看護の実践を学ぶ。 | ･看護の動向<br>･呼吸器･消化器･循環器･脳神経のフィジカルアセスメントの意義、フィジカルアセスメントの実際、展開について<br>･事例検討、グループワーク | 各1,000 |
| 札幌第3※ | 看護過程と看護記録 | 10/8～10/9<br>札幌市 | 2 | 8/19～9/2 | 40 | 保･助･看<br>（2日間出席可能な者） | 看護過程及び看護記録を見直し、看護活動への活かし方を学ぶ。 | ･看護の動向<br>･看護過程とその構成要素<br>･看護記録の意義<br>･グループワーク | 2,000 |
| 北空知 | 食べる力を支える口腔ケア | 10/9～10/10<br>砂川市 | 2 | 8/19～9/2 | 40 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | 口腔ケア･摂食嚥下の基礎知識を学び、アセスメント能力の向上を図る。また、具体的な援助方法を学ぶ。 | ･看護の動向<br>･摂食･嚥下機能について<br>･口腔ケアの基礎知識<br>･口腔ケアのアセスメント<br>･ケアの実際 | 2,000 |
| 十勝 | 医療機関の災害対策① | 10/10<br>帯広市 | 1 | 8/19～9/2 | 各50 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | ･災害看護の基礎知識を理解出来る。<br>･インシデントコマンドシステムを用いた災害時対応方法を学ぶ。 | ･看護の動向<br>･看護スタッフが行う災害への対応方法を学ぶ | 1,000 |
| | 医療機関の災害対策② | 10/11<br>帯広市 | 1 | | | 「医療機関の災害対策①」を受講した者 | | ･看護管理者が行う災害への対応方法を学ぶ | 1,000 |
| 留萌 | 現場で活かせる感染管理 | 10/24<br>留萌市 | 1 | 9/2～9/16 | 40 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | 感染管理の基礎と予防策の具体的な方法を学び、日々の実践に活かす。 | ･看護の動向<br>･感染管理の基礎知識<br>･病院、施設内で流行する感染症対策<br>･実技（標準予防策） | 1,000 |
| 根室 | 災害看護 | 11/7～11/8<br>又は<br>11/14～11/15<br>中標津町 | 2 | | 60 | 保･助･看･准<br>医療・介護関係者 | ･災害看護の基礎を理解できる<br>･看護職として災害時の対応を考え備えることができる<br>･災害時の地域課題を知る | ･看護の動向<br>･災害看護の基礎と演習 | 2,000 |

※印の研修会場は北海道看護協会を予定しています。駐車場をご利用の方はP39を参照のうえお申し込みください。

（お問い合わせ先　北海道看護協会総務部総務課　TEL：011－863－6731）

# Ⅴ　看護地域別研修会（北海道補助研修）

＊開催地区に在住している方が応募することができます。
＊受講料は受講料払込取扱票による入金となります。（会員・非会員とも同額）
＊支部の都合により研修内容・開催日時等が変更となる場合があります。北海道看護協会ホームページで最新情報をご確認ください。

| 開催地 | 日数 | 開催期日 | 対象 | 目　的 | 申込方法 | 受講料 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| （総合）振興局保健環境部保健行政室（地域保健室）及び地域保健支所単位 | 1日 | 土曜日又は日曜日 | 保・助看・准 | 会員・非会員を問わず、かつ就業・未就業を問わず、地域に在住するすべての看護職員に対し、最新情報の提供及び実践力の向上にむけ学習の機会を提供し看護の質的向上を図る。 | 研修会申込書5に必要事項を記入し、北海道看護協会総務部総務課まで(P3参照)お申し込みください。 | 1,000円 |

| 担当支部 | 開催地区 | | 開催日<br>開催地 | 応募期間 | 定員 | テーマ | 主な研修内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | （総合）振興局保健環境部 | 保健行政室（地域保健室）地域保健支所名 | | | | | |
| 道南南 | 檜　山 | 保健行政室 | 9/26<br>江差町 | 8/5～8/19 | 30 | へき地医療の現状-Drヘリ導入 | へき地医療への現状の取り組みを学ぶ。 |
| | 渡　島 | 保健行政室 | 6/6 | 4/16～4/30 | 90 | 現場で活かす感染防止対策 | 感染管理の基本と防止対策の具体的な方法を学び、看護に活かす。 |
| | | 木古内地域保健支所 | 函館市 | | | | |
| 道南北 | | 八雲地域保健室 | 10/31<br>八雲町 | 9/10～9/24 | 50 | 救急・災害医療とDMAT | DMATの活動について |
| | | 今金地域保健支所 | 8/28<br>せたな町 | 7/8～7/22 | 30 | 老人看護と認知症ケア | 高齢者や認知症の特性や病態理解と看護やケアについて学ぶ |
| | | 森地域保健支所 | 10/24<br>森町 | 9/2～9/16 | 30 | ノロ対策について | ノロ吐物処理方法について |
| 後　志 | 後　志 | 保健行政室 | 6/27 | 5/6～5/20 | 30 | 医療安全の基礎 | ・安全な医療を提供する上での基礎を知る<br>・チームで取り組むためのコミュニケーション作りを体感する<br>・地域での情報共有と今後の体制整備を考える |
| | | 余市地域保健支所 | 倶知安町 | | | | |
| | | 岩内地域保健室 | 10/3<br>岩内町 | 8/12～8/26 | 30 | 一般病棟でできる認知症ケア | 地域性を踏まえて認知症の患者が一般病棟に入院の機会が多いが、看護師は限られた環境の中で何をどうアセスメントし、判断し看護展開していくかを学ぶ。 |
| 札幌第3 | 石　狩 | 千歳地域保健室 | 9/5<br>千歳市 | 7/15～7/29 | 70 | 認知症患者の看護　基礎と実践 | ・認知症看護の基礎知識<br>・症例を通して具体的な関わり方、家族を含めた援助方法やケアについて学ぶ |
| 札幌第4※ | | 保健行政室 | 6/27 | 5/6～5/20 | 50 | 注目される地域包括ケアシステム<br>-今求められる看護師の役割- | 地域包括ケアシステムの基本と継続看護について（講義） |
| | | 石狩地域保健支所 | 札幌市 | | | | |
| 南空知 | 空　知 | 保健行政室 | 9/12 | 7/22～8/5 | 50 | 医療現場におけるクレーム、暴言・暴力の実際と対応について | ・看護職が働く中で受けるクレームや暴言・暴力の実際とその影響を理解して、日々の業務で経験する対応を見直し、モンスターペイシェントやクレームへの対応方法を学ぶ<br>・講義、演習 |
| | | 由仁地域保健支所 | 岩見沢市 | | | | |
| 北空知 | | 深川地域保健室 | 8/22<br>深川市 | 7/1～7/15 | 40 | ベッドサイドでの感染対策 | 感染管理の知識の習得、予防技術の具体的な方法を学び、日々の看護実践に活かす。 |
| | | 滝川地域保健室 | 6/27<br>滝川市 | 5/6～5/20 | 40 | 認知症の理解と看護について | 認知症に対する知識と理解を深め、症例を通して具体的な関わり方、家族を含めた援助方法やケアについて学ぶ。 |

| 担当支部 | 開催地区 (総合)振興局 保健環境部 | 開催地区 保健行政室 (地域保健室) 地域保健支所名 | 開催日 開催地 | 応募期間 | 定員 | テーマ | 主な研修内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 室　蘭 | 胆　振 | 保健行政室 | 8/22<br>室蘭市 | 7/1～7/15 | 50 | 認知症高齢者への看護 | 認知症患者の看護 |
| 苫小牧 | | 苫小牧地域保健室 | 7/4<br>苫小牧市 | 5/13～5/27 | 50 | 医療職のストレスマネジメント | ストレスの適切な対処法について |
| 日　高 | 日　高 | 保健行政室<br>静内地域保健室 | 6/6<br>新ひだか町 | 4/16～4/30 | 50 | キネステティクス | 人の自然な動きを体験し、実践を振り返る。 |
| 上川南 | 上　川 | 保健行政室<br>富良野地域保健室 | 10/17<br>旭川市 | 8/26～9/9 | 30 | 急変患者の対応に強くなる | ・急変時の対応について<br>講義およびシミュレーション |
| 上川北 | | 名寄地域保健室 | 10/24<br>名寄市 | 9/2～9/16 | 30 | 最新の感染管理 | 標準予防策と最新の情報に基づいた感染予防策を学ぶ。 |
| 留　萌 | 留　萌 | 保健行政室<br>天塩地域保健支所 | 調整中<br>留萌市 | | 40 | 患者、家族に寄り添う退院支援 | 継続的な医療を提供する為に必要な知識や方法を学ぶ：講義 |
| 稚　内 | 宗　谷 | 保健行政室<br>浜頓別地域保健支所 | 8/29<br>稚内市 | 7/8～7/22 | 40 | 過活動膀胱　高齢者の排尿機能障害 | 講義・講演2.5時間予定 |
| | | 利尻地域保健支所 | 9/5<br>利尻町 | 7/15～7/29 | 40 | 救急初期対応 | 講義・講演3時間予定 |
| 北　網 | オホーツク | 保健行政室<br>北見地域保健室 | 10/10<br>網走市 | 8/19～9/2 | 30 | 緩和ケア | ・緩和ケアの基礎的知識の習得<br>・症状マネジメントとケアの実際について学ぶ |
| 遠　紋 | | 紋別地域保健室<br>遠軽地域保健支所 | 8/8<br>紋別市 | 6/17～7/1 | 50 | ターミナルケアの実践−様々な終末期ケアのあり方− | 講義と実践報告及びグループワーク |
| 十　勝 | 十　勝 | 保健行政室<br>広尾地域保健支所<br>新得地域保健支所<br>本別地域保健支所 | 7/18<br>帯広市 | 5/27～6/10 | 100 | 症状アセスメント力を高めよう−シミュレーション教育を用いて− | シミュレーション教育とはを学び、演習にて臨床実践能力を高める。 |
| 釧　路 | 釧　路 | 保健行政室<br>標茶地域保健支所 | 11/7<br>釧路市 | 9/16～9/30 | 30 | 認知症高齢者への看護 | 認知症患者の看護 |
| 根　室 | 根　室 | 保健行政室<br>中標津地域保健室 | 7月中<br>中標津町 | | 50 | 感染管理 | 感染管理の基礎と実践 |

※印の研修会場は北海道看護協会を予定しています。駐車場をご利用の方はP39を参照のうえお申し込みください。

（お問い合わせ先　北海道看護協会総務部総務課　TEL：011－863－6731）

# Ⅵ　研修会申込書

【教育課】

申込書1

申込先　ＦＡＸ　０１１－８６３－３２０４

（　FAX送信時、番号をもう一度確かめましょう！　）

# 平成27年度　北海道看護協会教育研修計画　研修会申込書

この申込書は研修会№１～72、83～109専用用紙

・申込書は、コピーまたはホームページからダウンロードしてご使用ください。
・空欄のないように該当事項をご記入ください。
・□枠には、黒の塗りつぶしまたはレ印で該当するものを選択してください。
・施設住所の郵便番号は、必ずご記入ください。

| 研修会No. | 研修会名　※配信研修は会場名までご記入ください |
|---|---|
| 研修期間：　平成　年　月　日～　月　日 | 申込日　年　月　日 |
| ふりがな<br>氏　名<br>（昭和・平成　年　月　日生） | 北海道看護協会支部名　支部 |
| 年齢　歳 | □男・□女 |
| 職能：□保健師 □助産師 □看護師 □准看護師 □医療関係者:職種（　） | 平成27年度 □会員 □非会員 □手続中<br>道会員No.（ゼロも含め６桁）注）JNA会員No.ではありません<br>入会手続き　会費納入　月済　会費納入　月予定 |
| ふりがな<br>施設名 | 施設の入院病床数<br>いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。<br>1 無床　2 1～19床　3 20～99床<br>4 100～199床　5 200～299床<br>6 300～499床　7 500床以上<br>記入欄 |
| 施設住所　〒　－<br>（TEL　－　－　）<br>（FAX　－　－　）<br>※個人会員の方は自宅住所をご記入ください | |
| 相当する職位　いずれかの番号を選択し記入欄にご記入ください。　該当する職位がない場合は同等の職位を選択してください。<br>1 看護部長（総師長）職　2 副看護部長（副総師長）職　3 師長職　4 副師長・主任職（副主任含む）<br>5 スタッフ　6 養成所･学校の看護教員　7 訪問看護ステーション所長　8 その他（　）<br>記入欄 | |
| 現在の勤務領域 □病棟（　科） □外来（　科） □その他（　） | |
| 看護職としての通算経験年数　年　ヵ月 | 現在の担当役割　※申し込む研修会の内容と関係のある役割だけをご記入ください。<br>注）施設内、看護部内、病棟内、専任、兼任等を具体的に明記してください。<br>（例：看護部教育委員会の委員、臨床指導者、施設内の医療安全委員会の委員など） |
| **看護管理領域の研修に申し込みをする方は必ずご記入ください。**<br>現在の職位（管理職）についてからの期間　年　ヵ月 | |

個人情報の取り扱い

本研修申込書で得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。

お問い合わせ先：　北海道看護協会事業部教育課　TEL：011-861-3273

【教育課】

申込書2

申込先　ＦＡＸ　０１１－８６３－３２０４

（　FAX送信時、番号をもう一度確かめましょう！　）

# 平成27年度　北海道看護協会教育研修計画　養成研修申込書

この申込書は研修会№73、75～81専用用紙

※順位は必ずご記入ください

施設推薦順位
（※看護管理者が記入）

・申込書は、コピーまたはホームページからダウンロードしてご使用ください。
・空欄のないように該当事項をご記入ください。
・口枠には、黒の塗りつぶしまたはレ印で該当するものを選択してください。
・施設住所の郵便番号は、必ずご記入ください。
・**左記の施設推薦順位に記載のない場合は、当協会の選考になります。**

申込日　　年　　月　　日

**看護部門責任者の推薦 ※忘れずにご記入ください。【医療安全管理者-フォローアップ-は不要】**

**推薦者：　職位（　　）　氏名（自署）**

| 研修会No. | 研修会名 |
|---|---|
| 研修期間：　平成　年　月　日 ～　月　日 | 北海道看護協会 支部名　支部 |

ふりがな
氏　名

（　昭和 ・ 平成　年　月　日生）

平成27年度　□会員　□非会員　□手続中

道会員No.　（ゼロも含め６桁）
注）JNA会員No.ではありません

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

入会手続き　会費納入　月済
会費納入　月予定

年齢　歳　□男 ・ □女

職能　□保健師　□助産師　□看護師　□准看護師

看護職の通算経験年数　年　ヶ月

ふりがな
施設名

施設の入院病床数
いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。
1　無床　2 1～19床　3 20～99床
4　100～199床　5　200～299床
6　300～499床　7　500床以上
記入欄

施設住所　〒

（TEL　-　-　）
（FAX　-　-　）

相当する職位　いずれかの番号を選択し記入欄にご記入ください。　該当する職位がない場合は同等の職位を選択してください。

1 看護部長（総師長）職　2 副看護部長（副総師長）職　3 師長職　4 副師長・主任職（副主任含む）
5 スタッフ　6 養成所･学校の看護教員　7 訪問看護ステーション所長　8 その他（　　）
記入欄

**※ 該当する研修会の欄に、必要事項と口枠には黒の塗りつぶしまたはレ印で該当するものを選択してください。**

**★ 医療安全管理者養成研修会**
**★ 医療安全管理者ーフォローアップー研修会**

1 医療安全管理者養成研修会受講歴
・受講した年度　（ 平成　年 度 ）
・主催者　□北海道看護協会　□日本看護協会
□その他（　　）

2 医療安全に関する役割(経験年数)
□専従の医療安全管理者　（　年　ヶ月 ）
□専任の医療安全管理者　（　年　ヶ月 ）
□施設内の医療安全委員　（　年　ヶ月 ）
□部署内の医療安全委員　（　年　ヶ月 ）
□部署内のリスクマネージャー　（　年　ヶ月 ）
□なし

3 今後の予定
□医療安全管理者　□その他（　　）

4 施設の状況
□専従･専任の医療安全管理者がいる
□医療安全管理者はいない

**★ 糖尿病重症化予防(フットケア)に係る研修会**

1 □受講要件を全て満たしている（教育研修計画参照）

2 糖尿病足病変に関する療養指導業務に従事した経験年数
（　年　ヶ月）

**★災害看護Ⅱ研修会**

1 災害医療と看護〔基礎編〕研修会受講歴

受講した年度
（平成 25・26・27 年度）
該当年に○をつけてください

※ 看護職の通算経験年数を必ずご記入ください

**★エンド･オブ･ライフ･ケア、ＥＬＮＥＣ－Ｊ高齢者プログラム研修会**

1 □受講要件を全て満たしている（教育研修計画参照）

**★精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会**

1 □受講要件を全て満たしている（教育研修計画参照）

個人情報の取り扱い：本研修申込書で得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。

お問い合わせ先：　北海道看護協会事業部教育課　TEL：011-861-3273

【教育課】　　申込書3

申込先 FAX　03-6431-1414　（送信先：株式会社 学研ナーシングサポート）

（ FAX送信時、番号をもう一度確かめましょう！ ）

# 平成27年度　北海道看護協会教育研修計画

## 研修会 No.74【e-ラーニング活用型】医療安全管理者養成研修 専用 申込書

・申込書は、コピーまたはホームページからダウンロードしてご使用ください。
・学研ナーシングサポートホームページからも直接申込みができます。
・すべて必須事項です。空欄のないように該当事項をご記入ください。
・口枠には、レ印で該当するものを選択してください。
・施設住所の郵便番号は、必ずご記入ください。

申込日　27 年　7 月　日

**看護部門責任者の推薦【必須】**　※忘れずにご記入ください。

**推薦者：　職位（　　）　氏名（自署）**

| 研修会No. **74** | 研修会名　【e-ラーニング活用型】医療安全管理者養成研修 （集合研修含む） |
|---|---|

研修期間：　平成27年8月1日～11月15日
集合研修　平成27年10月24日(土)13時～10月26日(月)13時

北海道看護協会 支部名　　支部

ふりがな
氏　名

（ 昭和・平成　年　月　日生）

平成27年度　□会 員　□非会員　□手続中

道会員No.（ゼロも含め6桁）
注）JNA会員No.ではありません

年齢　歳　□男 ・ □女

職能　□保健師　□助産師　□看護師　□医療関係者 職種:（　）

通算経験年数　年　ヶ月

入会手続き　会費納入　月済　会費納入　月予定

ふりがな
施設名

施設の入院病床数
いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。
1 無床　2 1～19床　3 20～99床
4 100～199床　5 200～299床
6 300～499床　7 500床以上

記入欄

自宅住所　〒

（TEL　-　-　）
（FAX　-　-　）

**※連絡用メールアドレス**：個人所有のアドレスでパソコンから送られたメール受信できるように設定されているもの
・迷惑メール設定によっては、パソコンからのメールを受取れないことがあります。パソコンからのメールを受取れるように設定してください。

| フリガナ | ｱｯﾄﾏｰｸ |
|---|---|
| アドレス | @ |

※メールが確実に届くように、アドレスとフリガナは正確に記載してください。数字の1(イチ)とアルファベットのl(エル)、0(ゼロ)とo(オー)、－(ハイフン)と＿(アンダーバー)など紛らわしい文字にはふりがなのご記入をお願いします。

相当する職位　いずれかの番号を選択し記入欄にご記入ください。　該当する職位がない場合は同等の職位を選択して下さい。

1 看護部長（総師長）職　2 副看護部長（副総師長）職　3 師長職　4 副師長・主任職（副主任含む）

5 スタッフ　6 養成所･学校の看護教員　7 訪問看護ステーション所長　8 その他（　）

記入欄

**※ 該当する欄に必要事項の記載と、口枠にはレ印で該当するものを選択してください。**

1 医療安全管理者養成研修会受講歴
□なし
□あり---受講した年度　（平成　年度）
主催者　□北海道看護協会　□日本看護協会
□その他（　）

2 医療安全に関する役割(経験年数)
□専従の医療安全管理者　（　年　ヶ月）
□専任の医療安全管理者　（　年　ヶ月）
□施設内の医療安全委員　（　年　ヶ月）
□部署内の医療安全委員　（　年　ヶ月）
□部署内のリスクマネージャー　（　年　ヶ月）
□なし

3 今後の予定
□医療安全管理者
□その他（　）

4 施設の状況
□専従･専任の医療安全管理者がいる
□医療安全管理者はいない

個人情報の取扱い
研修申込書で得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。
e-ラーニング個人成績の取扱いについては、北海道看護協会及び㈱学研ナーシングサポートが当研修の実施目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。

お問い合わせ先
㈱学研ナーシングサポート　医療安全研修係　TEL：03-6431-1228
北海道看護協会　事業部教育課　TEL：011-861-3273

【教育課】

申込書4

申込先　ＦＡＸ　０１１－８６３－３２０４

（　FAX送信時、番号をもう一度確かめましょう！　）

# 平成27年度　看護補助者研修申込書

・申込書は、コピーまたはホームページからダウンロードしてご使用ください。
・ご本人が空欄のないように該当事項をご記入ください。
・□枠には、黒の塗りつぶしまたはレ印で該当するものを選択してください。
・施設住所の郵便番号は、必ずご記入ください。

| 研修会No. **110** | 研修会名　**チームの中で看護補助者の力を発揮しよう 研修会** |
|---|---|

| 研修日：　**平成27年　11 月　5 日** | 申込日　27 年 9 月　日 |
|---|---|

| ふりがな<br>氏　名<br><br>（昭和・平成　年　月　日生） | 北海道看護協会<br>支部名 | 支部 |
|---|---|---|
| | 年齢<br>歳 | 性別<br>□男 □女 |

| ふりがな<br>施設名 | 施設の入院病床数<br>いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。<br>1 無床　2 1～19床　3 20～99床<br>4 100～199床　5 200～299床<br>6 300～499床　7 500床以上 | 記入欄 |
|---|---|---|

施設住所　〒　　－

（TEL　　－　　－　　）
（FAX　　－　　－　　）

（書類送付先住所になります）

勤務部署の種類　いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。

1 一般病床　2 療養型病床（医療療養型病床、介護療養型病床を含む）　3 回復期リハビリテーション病棟　記入欄

4 精神病床（老人性認知症疾患治療病棟、老人性認知症疾患療養病棟を含む）　5 障害者施設

6 特養　7 老健　8 その他（　　）

| 経験年数(通算)　　年　　ヵ月 | |
|---|---|

資格（業務に関連するもの）　いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。
※ 複数の資格をもつ者は、「業務を行う上で必須なもの」または「上位の資格」1つを選択

1 なし　2 介護福祉士　3 介護職員実務者研修修了者（または介護職員基礎研修課程修了者、ヘルパー1級）
4 介護職員初任者研修修了者（またはヘルパー2級）　5 その他（　　）　記入欄

個人情報の取り扱い
研修申込書で得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。

お問い合わせ先：　北海道看護協会事業部教育課　TEL：011-861-3273

【総務課】

申込書5

申込先　ＦＡＸ　０１１－８６３－３２０４

（　FAX送信時、番号をもう一度確かめましょう！　）

# 平成27年度 北海道看護協会
# 支部担当･看護地域別研修会　専用申込書

※順位は必ずご記入ください

| 施設推薦順位<br>（※看護管理者が記入） |
|---|
| |

・申込書は、コピーまたはホームページからダウンロードしてご使用ください。
・空欄のないように該当事項をご記入ください。
・口枠には、黒の塗りつぶしまたはレ印で該当するものを選択してください。
・施設住所の郵便番号は、必ずご記入ください。
・左記の施設推薦順位に記載のない場合は、当協会の選考になります。
・医療・介護関係者の方は必ず職種を記入してください。

| | | |
|---|---|---|
| 担当支部名 | □支部担当 | 研修会名： |
| | □看護地域別 | テーマ： |

研修期間：　平成　　年　　月　　日　～　　月　　日

申込日　　年　　月　　日

ふりがな
氏　名

（昭和・平成　　年　　月　　日生）

| 北海道看護協会<br>支部名 | | 支部 |
|---|---|---|

平成27年度 □会員 □非会員

道会員No.（ゼロも含め6桁）
注）JNA会員No.ではありません

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

| 年齢<br>歳 | □男<br>・<br>□女 | 職能<br>□保健師 □助産師 □看護師 □准看護師<br>□医療・介護関係者:職種（　　） |
|---|---|---|

入会手続き　会費納入　月済
会費納入　月予定

ふりがな
施設名

施設の入院病床数
いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。
1 無床　2 1～19床　3 20～99床
4 100～199床　5 200～299床
6 300～499床　7 500床以上

記入欄

施設住所　〒　　－

（TEL　　－　　－　　）
（FAX　　－　　－　　）

相当する職位　いずれかの番号を選択し記入欄にご記入ください。　該当する職位がない場合は同等の職位を選択してください。

1 看護部長（総師長）職　2 副看護部長（副総師長）職　3 師長職　4 副師長・主任職
5 スタッフ　6 養成所･学校の看護教員　7 訪問看護ステーション所長　8 その他（　　）

記入欄

現在の勤務領域　□病棟（　　科）　□外来（　　科）　□その他（　　）

経験年数（通算）　年　　ヵ月

現在の担当役割　※申し込む研修会の内容と関係のある役割だけをご記入ください。
注）施設内、看護部内、病棟内、専任、兼任等を具体的に明記してください。
（例：看護部教育委員会の委員、臨床指導者、施設内の医療安全委員会の委員など）

※昼食の斡旋は行っておりません。

個人情報の取り扱い
研修申込書で得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。

お問い合わせ先：　北海道看護協会　総務部総務課　TEL：011-863-6731

【教育課】　　申込書6

申込先　FAX　011−863−3204　（ FAX送信時、番号をもう一度確かめましょう！）

# 平成27年度　訪問看護師養成講習会　申込書

・申込書は、コピーまたはホームページからダウンロードしてご使用ください。
・□枠には、　レ印　で該当するものを選択し、空欄のないよう記入してください。

研修期間:　平成　27 年　5 月　13 日 ～　6 月　26 日

申込日　27 年　月　日

ふりがな
氏　名

（昭和・平成　年　月　日 ）

北海道看護協会 支部名　支部

平成27年度　□会員　□非会員

道会員No.（ゼロも含め6桁）
注）JNA会員No.ではありません

年齢　歳　□男　□女

職能　□保健師　□助産師　□看護師　□准看護師

資格　□介護支援専門員　□その他（　）

入会手続き　会費納入　月済　会費納入　月予定

現在の所属　□訪問看護ステーション　□診療所　□病院　□介護保健・福祉施設など　□その他（　）
→ □訪問部門　□病棟　□外来　□その他（　）

施設住所　※ 書類送付先：原則として施設住所へ送付します。
〒　−

いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。　記入欄
1 無床　2 1～19床　3 20～99床　4 100～199床　5 200～299床　6 300～499床　7 500床以上

TEL　−　−
FAX　−　−
※e-mail

施設名

□未就業

自宅住所　〒　−

＊確実に連絡がとれる電話番号を記載ください。
TEL　−　−
FAX　−　−
※e-mail

相当する職位など　いずれかの番号を選択し、記入欄にご記入ください。　記入欄
1 訪問看護ステーション所長　2 看護部長（総師長）職　3 副看護部長（副総師長）職　4 師長職
5 副師長・主任職　6 スタッフ　7 養成所・学校の看護教員　8 その他（　）

*必須

訪問活動
- 看護経験　《経験年数記載》　年　カ月
- 訪問看護経験　年　カ月
- 現在の訪問活動の有無　□有　□無

管理経験
【管理経験】　□有　□無
□師長職　□主任職　□所長職 → 年

認定看護師、専門看護師、認定看護管理者教育課程を修了している方は、その取得年と名称をお書きください。

| 取得年 | 名　称 |
|---|---|
| 年 | |
| 年 | |
| 年 | |
| 年 | |

受講後の業務就職等の予定
□所属施設に継続勤務　□施設内の訪問看護部門に移動
□訪問看護ステーションに内定　□訪問看護ステーションに希望　□訪問看護ステーション立上げ準備
□その他　（　）

自己の課題

施設長あるいは看護部長の推薦理由
未就業は不要

推薦者役職:
推薦者名:
推薦者のe-mail
（　）

個人情報の取扱い：本研修申込書で得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。

お問い合わせ先：　北海道看護協会事業部教育課　TEL:011-861-3273

【教育課】

申込先　ＦＡＸ　０１１－８６３－３２０４

申込書７

# 平成27年度　訪問看護師養成講習会公開講座-申込書

太枠の受講希望日に○をつけ、申込者記入欄に必要事項をご記入ください。

| 希望日 | 月日 | 曜日 | 9:30 | 12:30 | 13:30 | 16:30 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 5/20 | 水 | **呼吸管理** | 呼吸管理を必要とする在宅療養者が、安楽な呼吸状態を維持できるための看護技術が提供できる。 | | |
| | | | 9：30～12：30<br>医療機器使用による呼吸管理<br>訪問看護ステーション西堀<br>池田　ひろみ | | 13：30～14：45<br>人工呼吸器の管理<br>フィリップス・レスピロニクス合同会社 北海道支店<br>宮西　一郎 | 15：00～16：30<br>在宅酸素機器の取扱い<br>北海道エア･ウォーター株式会社<br>大塚　彩子 |
| | 5/25 | 月 | **フィジカルアセスメント** | 在宅療養者の健康状態を的確にアセスメントし、異常の早期発見ができる。 | | |
| | | | 訪問看護ステーション　オハナ　高畑　智子 | | | |
| | 5/26 | 火 | **精神症状のある在宅療養者の看護** | 精神症状を有する在宅療養者が生活を維持できるための支援ができる。 | | |
| | | | 病院からの視点から<br>調整中 | | 地域からの視点から<br>訪問看護ステーション　やまのて　谷藤　伸恵 | |
| | 5/27 | 水 | **スキンケア** | 皮膚や粘膜の状態、創傷状態に合わせたスキンケアができる。<br>ストーマケアを必要としている在宅療養者への適切な援助ができる。 | | |
| | | | 札幌白石訪問看護ステーション　瀬高　有希子 | | | |
| | 5/28 | 木 | **ターミナルケア**<br>（終末期ケア） | 在宅療養者と家族が終末期の時間を可能な限り安楽に過ごし、死を迎えるための支援ができる。 | | |
| | | | いまいホームケアクリニック　吉井　みゆき | | | |
| | 6/2 | 火 | **認知症の看護** | 認知症の人が在宅での生活を継続するための支援ができる。 | | |
| | | | 恵和会　法人本部<br>浜本　伸子 | | 株式会社　西岡メディカル<br>長屋　智美 | |
| | 6/3 | 水 | **感染管理** | 在宅療養者への感染予防および対策を理解し、適切に実施できる。 | | |
| | | | 指定居宅介護支援事業所ディ・グリューネン　義達　奈生美 | | | |
| | 6/8 | 月 | **難病患者の看護** | 難病患者が在宅生活を継続するための支援を理解できる。 | | |
| | | | 訪問看護ステーションゆう　海岸　美子 | | | |
| | 6/9 | 火 | **栄養管理** | 経管栄養法および中心静脈栄養法を必要とする在宅療養者に適切な援助ができる。 | | |
| | | | 経管栄養法・中心静脈栄養法<br>訪問看護ステーションいたわり　清水多恵子 | | 摂食・嚥下障害の援助法<br>砂川市立病院　伊藤　郁子 | |
| | 6/12 | 金 | **排泄ケア** | 排尿、排便処置が必要な在宅利用者に対し、快適な日常生活が送れるような排泄ケアを適切に行える。 | | |
| | | | 札幌厚生病院　宮田　照美 | | | |
| | 6/15 | 月 | **面接技術** | 在宅療養者および家族を総合的に理解し、支援するための面接技術が習得できる。 | | |
| | | | 笠山　みつえ | | | |

**【申込者記入欄】**

フリガナ　　□男

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　□女　年齢　　才　生年月日 S・H　　年　　月　　日 生

職　能 □保健師　□助産師　□看護師　□准看護師　平成27年度 □会員　□非会員

道会員NO.（ゼロを含め6桁）

**※勤務されている方の受講決定は施設に郵送いたします。**

施設名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（TEL　　）

施設住所〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（FAX　　）

自宅住所〒　　（TEL　　）　※確実にご連絡できる電話番号の記載をお願いいたします。

# Ⅶ　北海道看護研究学会のご案内

## 1　平成 27 年度北海道看護研究学会

(1)学会テーマ　　『看護の可視化と社会への発信ー看護の実践知を未来へ』

(2)開催日　　平成 27 年 6 月 21 日(日)

(3)会　場　　ニトリ文化ホール、ホテルさっぽろ芸文館
札幌市中央区北1条西12丁目

(4)プログラム　　基調講演、口演発表、示説発表、ランチョンセミナー(2会場予定)、企業展示
※ランチョンセミナー券(お弁当付)は当日朝に配布します。
※ランチョンセミナー券をお持ちでない方も、セミナー会場への入場・セミナー聴講ができます。

(5)参加申込み　　平成 27 年 4 月下旬、各施設の看護管理者宛にご案内します。

(6)参加費

| 区分＼参加費 | 事前参加費 | 当日参加費 |
|---|---|---|
| 会員 ※1 | 3,000 円 | 4,000 円 |
| 非会員 | 4,500 円 | 6,000 円 |
| 学生 ※2 | 1,500 円 | 1,500 円 |

参加費は、学会参加申込時での「北海道看護協会 入会の有無」によって決まります。
入会手続きには、時間がかかりますので早めに手続きください。

※1　会員とは、「平成 27 年度北海道看護協会会員」を指します。
※2　学生とは、看護の免許を未取得の看護学生です。(全学年参加可能)

## 2　平成 28 年度北海道看護研究学会

(1)開催日　　平成 28 年 6 月 19 日(日)

(2)会　場　　札幌コンベンションセンター
札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

### 平成 28 年度北海道看護研究学会への演題応募について

申込締切は、平成 27 年 12 月上旬の予定です。

演題の応募や学会への参加の詳細は、平成 28 年度北海道看護研究学会実施要綱をご覧ください。

**平成 28 年度の実施要綱は、平成 27 年 10 月下旬頃ホームページに公開予定です。**

**※実施要綱は、各施設への送付は行っておりません。ホームページ、協会ニュース等で内容をご確認ください。**

平成 27 年度は、看護研究に関する研修会を 5 種類実施いたします。ぜひ、研修会を受講し、北海道看護研究学会への演題応募をおまちしています。

学会情報は、随時ホームページに公開中

2015年4月1日（水）
受付開始!!

# 2015年度 全国看護セミナー のご案内

## 講座名

## 多様なスタッフへの社会人基礎力の育て方・かかわり方

### 開催日・開催地・会場

2015年10月31日（土）・11月１日（日）
北海道札幌市（北海道看護協会会館）

### 講　師

高橋　恵氏
（聖マリアンナ医科大学
ナースサポートセンター センター長）
近藤昭子氏
（聖マリアンナ医科大学
ナースサポートセンター担当部長
・総合教育センター副センター長）

### 定員・受講対象者

150名　看護管理者

### 受講料

17,000円＋税

### 講義趣旨

様々な人々と共に日々の仕事を行う上では、ケアの実施・専門性の発揮などのベースとなる〈社会人基礎力〉が必要です。 しかし、この力は様々な経験を通して身についてきたものですが、昨今の新社会人は人との関わりが希薄となり、チームの中でのかかわりを通して成長することは難しくなっています。そこで、できるだけ早い時期に社会人基礎力の意味を理解し、それらを「意識しながら考え、行動する」ことが重要です。　本講座では、より具体的で丁寧なかかわり方が学べるよう、聖マリアンナ医科大学病院看護部で実施している①新人看護職員研修:「主体性を育む教育プログラムの実際と評価」、「研修ごとに実施した社会人基礎力評価結果」、②「社会人基礎力を意識したセクション支援の実際」などを事例を交えて紹介し、管理者としてのかかわり方をグループワークを交えて学びます。

### 講義スケジュール

| | | |
|---|---|---|
| [第１日] | 12:00～13:00 | 開場・受付 |
| | 13:00～16:00 | 講義 |
| | 16:00 | 終了 |
| [第２日] | 9:00～ | 開場 |
| | 9:30～11:30 | 講義 |
| | 11:30～12:30 | 昼食休憩 |
| | 12:30～15:30 | 講義 |
| | 15:30 | 終了 |

※スケジュールは変更になる場合がございます。

### 2014年度開催参加者の声

◆社会人基礎力という言葉を初めて聞き、学んでみて、自分に足りてない事の多さを感じました。またスタッフを指導する中で、偏った見方をしている事にも気づきました。（中略）実例の内容もとてもわかりやすかったです。

◆社会人基礎力は新人看護師のみのことを示していると思っていました。リーダーや認定Nsなど様々な役割・段階にあるNsにも自分の強み・弱みを明らかにするツールとして活用できると感じました。

## お申し込み･お問い合わせ

【お申込み開始日】2015年４月１日（水）ＦＡＸまたは弊社ホームページにて受付開始！
※ファクス用の申込用紙はホームページよりダウンロードできます。

株式会社日本看護協会出版会 全国看護セミナー
【コールセンター TEL：0436-55-1915　FAX：0436-55-1916】
<ホームページ>　ＵＲＬ：http://www.jnapc.co.jp
事務局：〒102-0084　東京都千代田区二番町４－３　二番町カシュービル３階

# Ⅸ　平成27年度北海道看護協会駐車場利用方法

研修会を受講される方は、当協会の駐車場が利用できますが、92 台と数に限りがあります。できるだけ公共交通機関の利用にご協力ください。

1　駐車場の利用希望者は、研修会の申込期間に、駐車場利用申込書を FAX 送信ください。
※研修等事業毎に、駐車場利用申込先着順に駐車場利用券を施設看護管理宛に郵送します。看護管理者の方は、個人に配布をお願いいたします。
※長期研修受講者（認定看護管理者教育課程、訪問看護師養成講習会など）は、事前申込はできません。一定の枠を確保していますので、研修初日に詳細を説明します。

2　駐車場利用券がない方は、駐車できません。
※駐車場利用券が届かなかった方は、事前申込に漏れたことになります。利用券は遅くとも、研修・事業開催 7 日前までに、送付しています。

**駐車場に関する問合せ先：総務部総務課　TEL 011-863-6731**

＜駐車場利用希望者＞

駐車場利用申込書（別紙 P40）を記載

↓

研修等事業の申込期間に、駐車場利用申込書を FAX 送信
北海道看護協会 FAX 番号
**０１１－８６３－３２０４**

↓

駐車場利用券を受け取る

↓

当日、駐車場係員に駐車場利用券を提示し、指示に従い駐車

↓

駐車場利用半券をダッシュボードの上、外から見える場所に置く

↓

協会内の駐車場料金所で、駐車場利用券半券（領収書付）を持参し、駐車料金を支払う

＜駐車場について＞

1　駐車場所：旧会館跡地
（札幌市白石区本通 16 丁目北 6-1）
2　駐車台数：92 台（自動二輪を含む）
※冬期間は堆雪スペース確保のため駐車可能台数は少なくなります。
3　駐車場利用時間：8 時～17 時
4　駐車場利用料：200 円（消費税込み）
つり銭のないように、お願いします。
5　駐車場のトラブル等の責任は一切負いません。
6　無断駐車した方は、研修中に呼び出すこともあります。
7　駐車場利用券のない方につきましても、空き状況によっては、当日駐車を受け付けますので、駐車場にて当日利用券を受け取ってください。なお、事前申込みによる利用券を忘れた方は当日駐車扱いになります。当日駐車は満車になり次第、終了します。

**申込 FAX 番号：０１１－８６３－３２０４**

公益社団法人北海道看護協会駐車場利用申込書

平成　　年　　月　　日

北海道看護協会 事務局長 様

施設住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

施 設 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

北海道看護協会会員番号

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

| 公益社団法人北海道看護協会駐車場を利用したいので、次のとおり申し込みます。 | | |
|---|---|---|
| 研修会等事業名 | | |
| 駐車利用日（研修等の期間） | | 年　月　日～　年　月　日 |
| 利用者 | 自動車登録番号 （ナンバー） | |
| | 車種名 （メーカー名・車名・色） | |

＜留意事項>

※ 研修会名等には、研修会、交流会、セミナー等の事業名をお書き下さい。

※ 駐車場利用申込は、１日の駐車場利用になります。利用時間は原則、８時から 17 時です。

※ この申込書は、１研修等事業につき、１枚の申込をお願いします。

※ やむを得ず、自宅に送付する場合は施設名の欄にその旨をお書きください。

※ 申込期間は、研修会等の申込期間と同様の期間です。

※ 駐車場利用券が届かなかった方は、事前申込に漏れたことになりますのでご承知ください。

memo

memo

memo

# 北海道看護協会ご案内

| | |
|---|---|
| ①地下鉄東西線 | ○地下鉄「南郷18丁目駅」　2番出口から徒歩18分　3番出口からタクシーで約7分 |
| | ○地下鉄「白石駅」バスターミナルから<br>中央バス・白34本郷線［北柏山］行▶「白石本通17丁目」停留所下車・徒歩1分 |
| ②JR千歳線 | ○JR「平和駅」から徒歩15分　※タクシー乗り場はありません。<br>駅階段を登り、跨線橋を右折し、階段を降りたら左の道を12号線方向に歩く |
| ③JRバス | ○JR「札幌駅」バスターミナルから<br>［新さっぽろ・江別］行<br>［大麻11丁目・南幌］行　▶「下白石」停留所下車・徒歩5分<br>［北広島・長沼温泉］行 |


公益社団法人北海道看護協会

〒003-0027 札幌市白石区本通17丁目北3番24号

TEL.(011)863-6731（総務部総務課）
TEL.(011)861-3273（事業部教育課）
FAX.(011)863-3204


［北海道看護協会ホームページ］ http://www.hkna.or.jp